

第31回岩手県文化芸術振興審議会

日時：令和3年2月12日（金）13時30分～

場所：岩手教育会館 カンファレンス200

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

(1) 協 議

ア 「いわて県民計画（2019～2028）」第1期アクションプランの進捗状況について 【資料1】

イ 「第3期岩手県文化芸術振興指針」に基づく令和2年度の取組状況について 【資料2】

ウ 文化スポーツ部における令和3年度の主要事業について 【資料3】

(2) 報 告

文化芸術関連の新型コロナウイルス感染症対策等について 【資料4】

(3) その他

4 閉 会

第31回岩手県文化芸術振興審議会 出席者名簿

○ 第7期岩手県文化芸術振興審議会委員

(任期：令和2年8月1日～令和4年7月31日)

No	氏名	所属・役職等	出欠
1	あべ たけし 阿部 武司	東北文化財映像研究所代表 三陸国際芸術祭運営委員（民俗芸能アドバイザー）	出席
2	いたがき たかし 板垣 崇志	社会福祉法人光林会るんびにい美術館 アートディレクター	出席
3	いつかいち たけし 五日市 健	公益社団法人全国高等学校文化連盟会長 岩手県立盛岡第四高等学校校長	出席
4	うえだ ふき 上田 吹黄	一級建築士事務所ちいろば設計	出席
5	きむら あつこ 木村 敦子	「てくり」編集人 アートディレクター	欠席
6	くまがい つねまさ 熊谷 常正	岩手県文化財保護審議会委員 盛岡大学文学部教授	出席
7	けんねんだい ひとみ 見年代 瞳	岩手県文化芸術コーディネーター 特定非営利活動法人やませデザイン会議事務局次長	欠席
8	さいとう ももこ 齋藤 桃子	石神の丘美術館主任学芸員	欠席
9	さとう きょうこ 佐藤 恭子	岩手県立大学盛岡短期大学部准教授	出席
10	しばた かずこ 柴田 和子	一般社団法人岩手県芸術文化協会会長	出席
11	たかはし よしゆき 高橋 嘉行	公益財団法人岩手県文化振興事業団理事長	出席
12	たぐち ひろこ 田口 博子	岩手県弦楽研究会会員 岩手大学教育学部非常勤講師	出席
13	なかしま なつこ 中嶋 奈津子	岩手県文化財保護審議会委員 佛教大学非常勤講師	出席
14	ひらやま とおる 平山 徹	岩手県民俗芸能団体協議会副会長 大船渡市郷土芸能協会会長	欠席
15	ますぶち としゆき 増淵 敏之	法政大学大学院教授 希望郷いわて文化大使	出席
16	もとむら けんた 本村 健太	岩手大学人文社会科学部教授	出席 (Web)

(令和2年8月1日現在、敬称略、五十音順)

○関係機関

部局	所属・職	氏名	出欠
教育委員会事務局 生涯学習文化財課	文化財課長	岩 渕 計	出席
盛岡広域振興局 経営企画部	特命課長 (文化スポーツ振興)	長谷川 克信	出席
県南広域振興局 経営企画部	特命課長 (文化スポーツ振興)	小 野 綾 子	出席 (Web)
沿岸広域振興局 経営企画部	特命課長 (文化スポーツ振興)	齋 藤 正 文	出席 (Web)
県北広域振興局 経営企画部	特命課長 (文化スポーツ振興)	藤 澤 邦 之	出席

○ 事務局

部局	所属・職	氏名
文化スポーツ部	部長	石 川 義 晃
	副部長兼 文化スポーツ企画室長	佐 藤 法 之
	文化振興課総括課長	岡 部 春 美
	世界遺産課長	佐 藤 嘉 広
	主幹兼文化交流担当課長	大 越 治 仁
	文化芸術担当課長	菊 池 剛
	特命課長	和 田 英 子

**「いわて県民計画（2019～2028）」
第1期アクションプランの
進捗状況について**

4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、 生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます

（基本方向）

幅広い分野の文化芸術に親しむ機会の拡大に向け、年齢、性別、障がいの有無に関わらず、県民が身近な場所で手軽に文化芸術活動を発表・鑑賞できる機会の充実を図ります。

また、岩手県の多彩な魅力の発信とブランド力の向上を図るため、本県ならではの文化について、文化をめぐる新しい動向などを踏まえながら、国内外への展開や観光分野をはじめとした幅広い分野への活用を進めます。

県民が心身ともに健康的に暮らせるよう、身近な地域でスポーツ活動ができる総合型地域スポーツクラブの活性化などを通じて、若年期から高齢期までのライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実を図ります。

また、障がい者スポーツの一層の推進を図るため、障がいのある人もない人も共に楽しむスポーツ大会や教室の開催などを通じて、障がい者のスポーツへの参加機会の充実や障がい者スポーツの理解促進に取り組みます。

さらに、年齢や身体能力、障がいの有無等に関わらず、県民一人ひとりがスポーツに取り組む新しい地域社会を創造するため、岩手発の「超人スポーツ」の創出等により、スポーツへの参加機会を広げます。

【概要】

○政策項目に関連するいわて幸福関連指標 3 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（33%）、達成度 D の指標が 2 指標（67%）でした。

・具体的推進方策指標 13 指標は、達成度 A、B の指標が 10 指標（77%）、達成度 C、D の指標が 3 指標（23%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R1	比較
8 余暇時間〔一日当たり〕 ※1	分	②373	390	378	372	D	-	-	-
9 県内の公立文化施設における催事数 ※2	件	1,316	1,385	1,344	1,261	D	-	-	-
10 スポーツ実施率	%	61.7	③65.0	④63.5	63.5	A	-	-	-

※1 休日を含む1週間の平均

※2 岩手県内公立文化施設協議会加盟施設のうち、各市所在の主な12施設の催事数

【特記事項】

- 余暇時間〔一日当たり〕は、1日の24時間から睡眠や食事などの生理的に必要な活動時間と、仕事や家事などの社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動時間を差し引いたものですが、一日当たりの仕事の時間が微減にとどまったこと、高齢化に伴い介護時間が増えたこと等により、達成度は【D】となりました。
- 県内の公立文化施設における催事数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2月後半から3月にかけての公演の多くがキャンセルとなったため、達成度は【D】となりました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>具体的推進方策指標 13 指標は、達成度 A、B の指標が 10 指標（77%）、達成度 C、D の指標が 3 指標（23%）でした。</p>	

(1) 県民が日常的に文化芸術に親しむ機会の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
47 岩手芸術祭参加者数〔累計〕	人	25,191	93,000	27,000	26,390	B
48 「岩手県文化芸術コーディネーター」の活動件数〔累計〕	件	402	1,650	405	527	A
49 県立文化施設（県民会館、県立博物館、県立美術館）利用者数	人	②438,274	462,500	449,500	757,566	A

◆推進方策を構成する事業の状況（事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
10	1,115	1,104	0	418	0	686	8 (67%)	1 (8%)	0 (0%)	3 (25%)	5 (46%)	1 (9%)	2 (18%)	3 (27%)

(2) 文化をめぐる新しい動向に対応した取組の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
50 コミックいわてWEB訪問者数	人	177,163	196,000	185,000	163,103	D
51 若者文化祭等の若者関連文化イベント来場者数〔累計〕	人	7,498	24,000	7,500	5,486	C

【特記事項】

- ・ コミックいわてWEB訪問者数は、コミックいわてWEBの全面リニューアル、新規作品（18 作品）の掲載、中国語（簡体字・繁体字）翻訳版作品（各 4 作品）の掲載などに取り組みましたが、電子コミック市場の拡大の影響や、コミックいわてWEBの全面リニューアル等の周知が進まなかったことなどにより伸び悩み、達成度は【D】となりました。
- ・ 若者文化祭等の若者関連文化イベント来場者数〔累計〕は、「いわてネクストジェネレーションフォーラム」について、地域の若者関連イベント等との相乗効果が十分に図れなかったことや、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったイベントがあったことにより、達成度は【C】となりました。

◆推進方策を構成する事業の状況（事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	33	32	0	0	0	32	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (25%)	2 (50%)	0 (0%)	1 (25%)

(3) 障がい者の文化芸術活動の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
52 岩手県障がい者文化芸術祭出展数〔累計〕	件	⑩312	1,290	315	346	A
53 岩手県障がい者音楽祭参加団体数	団体	⑩14	18	15	17	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	17	17	4	0	0	13	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) ライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
54 総合型地域スポーツクラブ会員数(地域全戸加入を除く)	人	⑩11,628	12,500	11,840	13,721	A
55 県営スポーツ施設の利用者数	万人	112	120	114	99	D

【特記事項】

- ・ 県営スポーツ施設の利用者数は、指定管理者と連携し利用促進に取り組みましたが、令和元年8月5日から令和2年3月25日までの間、県営運動公園陸上競技場が改修工事のため、使用できなかったことなどにより、達成度は【D】となりました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	52	51	0	3	0	48	2 (40%)	3 (60%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (80%)	0 (0%)	1 (20%)	0 (0%)

(5) 障がい者スポーツへの参加機会の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
56 障がい者スポーツの教室・大会の参加人数〔累計〕	人	2,954	12,640	3,070	3,519	A
57 障がい者の受入・活動支援を行うスポーツ関係団体数〔累計〕	団体	⑩8	20	11	11	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	32	32	4	0	0	28	0 (0%)	1 (33%)	1 (33%)	1 (33%)	2 (67%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (33%)

(6) 岩手発の「超人スポーツ」の創出等によるスポーツ参加機会の拡大

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
58 超人スポーツワークショップ参加者数〔累計〕	人	69	280	70	122	A
59 超人スポーツオープンセミナー参加者数〔累計〕	人	⑩40	260	50	105	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	5	4	0	0	0	4	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- 令和2年県民意識調査によると「日常的に文化芸術に親しむ機会」の重要度は57位、満足度は24位となり、ニーズ度は57位となっています。
- 令和2年県民意識調査によると「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」の重要度は55位、満足度は30位となり、ニーズ度は56位となっています。

4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます

課 題	今後の方向
<具体的推進方策①> 県民が日常的に文化芸術に親しむ機会の充実	
<p>県内の公立文化施設における催事数は新型コロナウイルス感染症の影響等により減少していることから、県民が日常的に文化芸術に親しむ機会を充実させるため、誰もが身近な場所で文化芸術を鑑賞・発表できる機会をより一層確保していく必要があります。</p> <p>また、コロナ禍にあっても「新しい生活様式」に対応した文化芸術に親しむ機会を確保する必要があります。</p>	<p>文化施設等における新型コロナウイルス感染症予防策を徹底するとともに、インターネット配信なども活用しながら、岩手芸術祭や「岩手芸術祭総合フェスティバル」、芸術体験イベントを開催します。</p> <p>また、文化芸術団体等の活動継続・再開に要する経費を支援するとともに、「いわての文化情報大事典」ホームページによる動画配信により、文化芸術の鑑賞・発表機会の確保に取り組みます。</p>
<具体的推進方策②> 文化をめぐる新しい動向に対応した取組の推進	
<p>コミックいわてWEBを通じて岩手の魅力を発信するため、より多くの読者に周知していく必要があります。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響により、大学祭の中止など若者の活動の機会が減少していることから、その受け皿となる機会を確保する必要があります。</p>	<p>大学や民間企業との連携による魅力向上の取組や広報誌の活用、多言語化による情報発信などにより、コミックいわてWEBの読者層を広げていきます。</p> <p>また、新たな生活様式の下、「いわてネクストジェネレーションフォーラム」など若者の交流機会を提供するとともに、若者の個性と創造性を生かした文化活動を支援します。</p>
<具体的推進方策③> 障がい者の文化芸術活動の推進	
<p>障がい者の文化芸術活動の活性化を図るため、障がい者芸術の認知度向上や障がい者の創作意欲の醸成を図る必要があります。</p>	<p>文化芸術活動に取り組む障がい者やその家族等を支援する障がい者芸術活動支援センターの活用促進を図り、障がい者が伸び伸びと安心して活動ができるよう支援します。</p> <p>アール・ブリュット巡回美術展や東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機として実施される日本博における障がい者の文化芸術フェスティバルを通じて、障がい者芸術に触れる機会の充実に取り組みます。</p>
<具体的推進方策④> ライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実	
<p>成人全体の週1回以上のスポーツ実施率は、順調に推移しており、高齢者の実施率は高い傾向にあります。30代・40代の実施率は他の年代と比べると低い傾向にあることから、それらの年代がスポーツを行うことができる環境を整備する必要があります。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響等により、県営スポーツ施設の利用者数が減少していることから、県民が安心してスポーツを楽しむ機会の充実を図る必要があります。</p>	<p>県広域スポーツセンター（県体協）に設置するクラブ育成アドバイザーの指導・助言により、総合型地域スポーツクラブの活動活性化などを通じて、身近な地域でスポーツ活動を実施できる環境の整備に取り組むとともに、30代・40代の県民が仕事帰りや家族連れでも参加できるよう、夜間や週末におけるスポーツ教室の開催、施設開放など各年代がスポーツを楽しむ機会の充実に取り組みます。</p> <p>また、県営スポーツ施設を安心して利用できるよう、新型コロナウイルス感染症予防策を講じるほか、更なる利用促進に向け、ホームページやSNS等を活用した情報発信を行うとともに、大会会場以外でも観戦可能なりモット配信に取り組みます。</p>
<具体的推進方策⑤> 障がい者スポーツへの参加機会の充実	
<p>身近な地域で自らの興味・関心・適性等に応じて日常的にスポーツを楽しむことができるよう、障がいのある人もない人も共にスポーツを楽しむ、交流を図る機会を充実させる必要があります。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響により、障がい者のスポーツ大会やスポーツ教室等の開催が中止・延期されていることから、「新しい生活様式」に対応し</p>	<p>障がいのある人もない人も共に楽しめる機会を提供するため、競技団体や総合型地域スポーツクラブと連携したスポーツ体験会やスポーツ教室等を実施していきます。</p> <p>また、障がい者スポーツ大会やスポーツ教室等が安全に実施出来るよう、感染予防ガイドラインに基づき、実施規模や実施方法等の見直しを図ります。</p>

課 題	今後の方向
ながら実施する必要があります。	
<具体的推進方策⑥>岩手発の「超人スポーツ」の創出等によるスポーツ参加機会の拡大	
年齢や身体能力、障がいの有無等に関わらずスポーツに取り組める「超人スポーツ」の創出・普及等を通じ、県民がスポーツに参加する機会を増やしていく必要があります。	ワークショップの開催等を通じ、「超人スポーツ」などの新たな競技の創出や普及により、年齢や身体能力、障がいの有無等に関わらず、共に楽しめるスポーツへの参加機会を拡大します。
総 括	
<p>以上のことから、文化芸術に親しむ機会を拡大するため、誰もが身近な場所で手軽に文化芸術を発表・鑑賞できる機会の充実を図る必要があることから、「新しい生活様式」に対応した文化芸術イベントの開催やコミックいわてWEBなどを活用した岩手の魅力の発信などに取り組みます。</p> <p>また、県民誰もが健康的に暮らし、年齢や身体能力、障がいの有無等に関わらず身近な地域でスポーツを楽しむ機会の充実を図るため、「新しい生活様式」にも対応しながら、競技団体や総合型地域スポーツクラブと連携したスポーツ・レクリエーションや「超人スポーツ」などの普及・促進に取り組みます。</p>	
反映結果	
<新規事業の創設>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 「新しい生活様式」に対応した文化芸術に親しむ機会を確保するため、「文化芸術イベント等映像配信事業費（R3 予算 5,772 千円）」を創設し、Webを活用した文化芸術関係イベントの映像配信に取り組みます。 ● 障がい者文化芸術の一層の振興を図るため、全国7地域で行われる「東京2020大会・日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル」を本県で開催するための「障害者の文化芸術フェスティバル東北ブロック事業開催費負担金（R3 予算 4,000 千円）」を創設し、障がい者の文化芸術活動を支援します。 ● 休日の部活動について、「地域部活動推進実践研究事業費（R3 予算 2,898 千円）」を創設し、地域の活動として地域人材が担う地域部活動を推進するための実践研究に取り組みます。 	
<既存事業の拡充>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 三陸防災復興プロジェクト2019を通じた文化交流を継続するとともに、国内外からの復興支援に対する感謝を伝えるため「さんりく音楽魅力発信事業費【再掲】（R3 予算 4,978 千円）」を拡充し、東日本大震災津波から10年を迎える被災地において「さんりく音楽祭」の開催に取り組みます。 ● 障がいのある人もない人も共に楽しめる機会を提供するため、「スポーツを通じた共生社会づくり推進費（R3 予算 3,116 千円）」を拡充し、感染症予防ガイドラインに基づいた障がい者スポーツ大会や、競技団体・総合型地域スポーツクラブと連携したスポーツ教室を開催するとともに、共生社会型スポーツの取組実績がある団体等による事例発表会を新たに行うなど、共生社会型スポーツ*の普及啓発に取り組みます。 	
<制度・組織体制の見直し>	
なし	
<その他取組の改善強化等>	
<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍においても、県民の文化芸術活動の発表・鑑賞の機会を提供するため、文化施設等における感染対策の徹底による利活用の促進を図るとともに、「岩手芸術祭」など文化芸術イベントを開催し、併せてWeb配信を行います。 ● 新型コロナウイルス感染症の影響により、公演などの事業の中止・延期を余儀なくされている本県の文化芸術団体等の活動を促進するため、活動に要する経費の支援や、岩手県民会館及び岩手県公会堂の利用料金を補助するなど、文化芸術活動の継続・再開の支援に取り組みます。 ● 文化芸術の鑑賞・発表機会を提供するため、「いわての文化情報大事典」ホームページによる文化芸術活動の映像配信や、SNSを活用した情報発信の強化に取り組みます。 ● 本県の多彩な魅力を発信するため、コミックいわてWEBの多言語化や作品の電子コミック化、大学等との連携による魅力向上などにより、コミックいわてWEBの充実に取り組みます。 ● 若者による文化芸術活動を活性化させるため、県内各地で、若者が主体となる文化芸術イベントを開催するなど、若者の個性と創造性が発揮される機会を提供します。 ● 障がい者の文化芸術活動の裾野を広げるため、障がい者芸術活動支援センターによる創作活動等の支援に取り組みます。 ● 県民の障がい者芸術に対する関心を高めるため、アール・ブリュット巡回展を開催し、魅力の発信に取り組みます。 	

- ライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実を図るため、総合型スポーツクラブの育成や指導者養成を行うとともに、夜間や週末におけるスポーツ教室の開催や施設開放、企業等への健康運動等の指導者の派遣を行うなど、30代・40代も含めた働く世代の運動機会の創出に取り組みます。
- 県営スポーツ施設を安心して利用できるよう新型コロナウイルス感染症予防策を講じるとともに、県民がスポーツ大会を観戦する機会を確保するため、スポーツ大会のライブ配信等に取り組みます。
- スポーツを楽しむ環境を整備するため、盛岡市と共同で盛岡南公園野球場（仮称）の整備を推進します。
- スポーツ医・科学の知見に基づく、選手強化と県民の健康増進を図るため、「いわてアスレティックトレーナー」の養成、アスリートへのトレーナー派遣、健康づくり教室等を開催します。
- 障がいのある人もない人も共にスポーツを楽しむ機会の充実を図るため、共にプレーできる卓球バレー大会等を開催します。
- 年齢や身体能力、障がいの有無に関わらず楽しめる「超人スポーツ」の普及・拡大を図るため、ワークショップや体験会等を実施します。

【用語解説】

※ 共生社会型スポーツ

障がいのある人もない人も、性別や年齢に関わらず、共に楽しめるスポーツ

19 文化芸術・スポーツを担う人材を育てます

（基本方向）

文化芸術を担う人材を育てるため、一流の文化芸術に触れる機会の提供や意欲的な創作活動等を後押しするとともに、障がい者の文化芸術活動を推進します。

また、スポーツを担う人材を育てるため、アスリート、障がい者アスリートの各種競技大会や強化合宿への参加を支援するとともに、スポーツ活動を支える指導者等の養成、スポーツ医・科学サポートを推進します。

【概要】

○政策項目に関連するいわて幸福関連指標 2 指標は、達成度 D の指標が 2 指標（100%）でした。

- ・ 具体的推進方策指標 13 指標は、達成度 A、B の指標が 12 指標（92%）、達成度 C の指標が 1 指標（8%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度	参考) 全国順位 (東北順位)		
							H29	R1	比較
34 将来の夢や目標を持って	%	小 ㊟86.5	88.0	86.7	84.6	D	-	-	-
35 いる児童生徒の割合		中 ㊟73.2	76.0	74.0	73.1	D	-	-	-

【特記事項】

- ・ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合は、各校のキャリア教育等において、企業訪問や地域を理解する調べ学習など、学校教育全体において多様な体験活動に取り組んできましたが、児童生徒が自己の在り方、生き方を考えることとのつながりが弱かったことなどを一因に、全国平均を上回る実績値となったものの、小学生、中学生ともに達成度は【D】となりました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>A 9指標 69% B 3指標 23% C 1指標 8% 13指標</p>	<p>具体的推進方策指標 13 指標は、達成度 A、B の指標が 12 指標（92%）、達成度 C の指標が 1 指標（8%）でした。</p>

(1) 文化芸術活動を担う人材の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
222 岩手芸術祭への出展数[累計]	件	1,341	5,430	1,350	1,189	B
223 子どものための芸術家派遣事業公演数[累計][再掲]	件	63	266	65	77	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
5	24	24	0	0	0	24	4 (57%)	1 (14%)	0 (0%)	2 (29%)	4 (57%)	0 (0%)	1 (14%)	2 (29%)

(2) 文化芸術活動を支える人材の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
224 アートマネジメント研修参加者数[累計]	人	42	160	42	32	C
225 障がい者文化芸術活動支援者育成研修受講者数[累計]	人	41	160	41	59	A

【特記事項】

- ・ アートマネジメント研修参加者数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、令和2年2月の研修参加者数が32人にとどまったことから、達成度は【C】となりました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	34	33	8	0	0	25	3 (75%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (25%)	2 (50%)	0 (0%)	2 (50%)	0 (0%)

(3) アスリートの競技力の向上

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
226 国民体育大会天皇杯順位	位	⑩東北1位	東北1位	東北1位	東北2位	B
227 本県関係選手の日本代表選出数[累計]	人	40	112	28	32	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
6	281	255	0	0	0	255	4 (66%)	1 (17%)	0 (0%)	1 (17%)	2 (33%)	4 (67%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 障がい者アスリートの競技力の向上

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
228 障がい者アスリートの育成研修会参加選手数[累計]	人	14	84	18	23	A
229 ジャパンパラ競技大会出場選手数[累計]	人	7	30	7	11	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	6	3	0	0	0	3	1	0	0	4	0	0	0	
						(75%)	(25%)	(0%)	(0%)	(100%)	(0%)	(0%)	(0%)	

(5) スポーツ医・科学サポートを通じた競技力の向上

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
230 スポーツ医・科学サポート団体数[累計]	団体	90	382	91	117	A
231 アスレティックトレーナー等登録者数	人	90	114	90	93	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	24	23	0	1	0	2	0	1	1	3	0	1	0	
						(50%)	(0%)	(25%)	(25%)	(75%)	(0%)	(25%)	(0%)	

(6) スポーツ活動を支える指導者等の養成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
232 公認スポーツ指導者資格登録者数	人	⑩2,701	2,850	2,738	2,759	A
233 公認障がい者スポーツ指導者資格登録者数	人	225	300	255	250	B
234 スポーツ推進委員研修会参加率	%	⑩43.6	50.0	50.0	54.3	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	188	170	4	0	0	5	3	0	0	5	3	0	0	
						(62%)	(38%)	(0%)	(0%)	(62%)	(38%)	(0%)	(0%)	

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- 令和2年県民意識調査によると「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」の重要度は43位、満足度は1位となり、ニーズ度は55位となっています。

19 文化芸術・スポーツを担う人材を育てます

課 題	今後の方向
<具体的推進方策①>文化芸術活動を担う人材の育成	
<p>文化芸術活動を担う人材を育成していくためには、子どもたちをはじめ広く県民が文化芸術に対する興味関心を高め、活動につなげていくことが重要であり、幼少期から優れた文化芸術に触れる機会を提供することや誰もが文化芸術活動に取り組める環境を充実させる必要があります。</p>	<p>学校等への芸術家の派遣や、国際的な音楽家との交流機会の創出など、優れた文化芸術に触れる機会を提供するほか、本県ゆかりの作家を活用した県民の文芸活動の支援に取り組みます。</p> <p>また、芸術体験イベントなどにより誰もが気軽に文化芸術を体験できる場を提供します。</p>
<具体的推進方策②>文化芸術活動を支える人材の育成	
<p>県民が積極的に文化芸術活動を行える環境づくりを推進するため、県内各地域において、活動を支える人材の育成を図ることが重要です。</p> <p>また、障がい者が安心して創作活動に取り組む環境づくりを推進するため、施設・事業所の文化芸術活動を支援する職員等が、作家の権利保護や創作活動支援の手法について理解を深めるよう取り組む必要があります。</p>	<p>官民一体による文化芸術推進体制「いわてアーツカウンシル」（仮称）の設立により、文化芸術活動の支援体制を強化するとともに、新型コロナウイルス感染症予防策を講じながら、アートマネジメント研修をはじめとした人材育成のための専門研修の開催などに継続的に取り組みます。</p> <p>また、障がい者の文化芸術活動に取り組む福祉事業所等を対象とした研修会等を開催し、障がい者芸術活動の理解促進や権利保護に取り組みます。</p>
<具体的推進方策③>アスリートの競技力の向上	
<p>国際大会等で活躍するトップアスリートを育成するためには、日本スポーツ協会等と連携し、中長期的な視点に立った育成や、日本代表や全国で上位入賞を目指す選手に対する支援などに継続的に取り組む必要があります。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響により、国民体育大会が延期となったことに加え、各競技団体の強化練習の実施に支障が生じており、コロナ禍における強化策を検討する必要があります。</p>	<p>これまでの日本代表クラスのトップアスリートに対する活動支援に加え、日本代表入りの可能性を持つ全国大会入賞レベルのアスリートに対して活動経費を支援するとともに、「アスリート版ハローワーク」を新たに設置し、雇用企業の開拓などに取り組みます。</p> <p>また、競技別のガイドラインに基づいた安全、安心な強化練習を実施するとともに、競技団体との調整を進め、来年の国体に向けた選手強化に取り組みます。</p>
<具体的推進方策④>障がい者アスリートの競技力の向上	
<p>障がい者アスリートの発掘・育成を推進するため、陸上競技や水泳など、比較的取り組みやすい競技に加え、冬季種目を含めた幅広い競技を体験し、能力の適性を見極めるとともに、スポーツ医・科学に裏付けられた専門指導を受ける機会の充実を図る必要があります。</p>	<p>関係競技団体と連携し、冬季競技種目（カーリングやシットスキーなど）を含む複数種目の練習会を実施するなど、障がい者アスリートの発掘・育成に取り組みます。</p> <p>また、障がい者アスリートが参加する大会へのトレーナー派遣を実施し、障がい者アスリートの競技力の向上を図るとともに、最新の競技用具の導入による各種大会での成績向上を目指します。</p>
<具体的推進方策⑤>スポーツ医・科学サポートを通じた競技力の向上	
<p>アスリートの効果的な競技力の向上を図るため、客観的なデータやスポーツ医・科学の知識と技術に基づいた指導が求められます。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響により、アスリートに対するトレーナーによるサポートや、スポーツ医・科学の知見を有する講師による講習など対面での事業実施が減少していることから、それに代わる新しい生活様式に対応したプログラムを提供する必要があります。</p>	<p>スポーツ医・科学の有識者等によるデータ活用プロジェクトチーム会議を行い、動作分析や体力測定等データに基づいた効果的な指導について検討します。</p> <p>また、アスリートを含む幅広い年代を対象として屋内でも一人でもトレーニングなどに取り組める、スポーツ医・科学の知見を取り入れた運動プログラム動画の紹介「レッツ！ぺっこトレ！！」を、定期的に配信します。</p>
<具体的推進方策⑥>スポーツ活動を支える指導者等の養成	
<p>選手・指導者の知識・技術の底上げを図るため、アスリートや障がい者アスリートを支える人材の育成、スポーツ医・科学の知見を活用したアスリートを支え</p>	<p>アスリートを支える人材を育成するため、引き続き「いわてアスレティックトレーナー」の養成に取り組むとともに、女性トレーナーによるサポート活動の充実や</p>

<p>る環境整備などに取り組む必要があります。 また、女性アスリートの活躍のため、女性特有の健康問題に関する正しい知識を有する指導者を育成する必要があります。</p>	<p>スポーツ・インテグリティの確保などに取り組みます。 また、女性特有の健康問題に関する講習会を開催し、女性アスリートが継続して競技に取り組むことができる環境を整備します。</p>
総 括	
<p>以上のことから、本県の文化芸術を担う人材を育てるため、学校等への芸術家の派遣などを通じ、継続して優れた文化芸術に触れる機会を提供していくとともに、新型コロナウイルス感染症予防策を講じた専門研修の実施などにより県内各地域の文化芸術を支える人材の育成に取り組めます。</p> <p>また、スポーツを担う人材を育てるため、新型コロナウイルス感染症予防策を講じながら、優れた指導環境による中長期的な視点に立った育成とスポーツ医・科学の知見を活用した競技力の向上に取り組むとともに、女性アスリートや障がい者アスリートが、継続して競技に取り組むことができる環境を整備します。</p>	
反映結果	
<新規事業の創設>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 令和3年度及び4年度に開催されるスキー競技の大規模大会を契機として、オリンピック等の国際大会で活躍する次世代選手の競技力の向上を図るため、「スキー全国大会少年種別強化事業費補助（R3 予算5,836千円）」を創設し、強化練習経費等の支援に取り組めます。 	
<既存事業の拡充>	
<ul style="list-style-type: none"> ● いわて国体を契機として高まった競技力を維持・向上させるため、「いわて競技力向上事業費（R3 予算141,339千円）」を拡充し、国体候補選手の遠征費等を支援するとともに、県内就職を希望するトップアスリートの就職支援に取り組めます。 	
<その他取組の改善強化等>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもたちの文化芸術に対する関心を高めるため、市町村等と連携して、学校等へ芸術家を派遣するなど優れた文化芸術に触れる機会の提供に取り組めます。 ● 地域の文化芸術の振興及び次代の文化芸術を担う人材を育成するため、国際的評価の高い音楽家による演奏会の実施等により優れた文化芸術に触れる機会及び交流の場の提供に取り組めます。 ● 文芸活動の一層の振興を図るため、本県にゆかりのある著名な作家による講演会や文学交流会の開催等により県民の文芸活動の支援に取り組めます。 ● 県民が日常的に文化芸術に親しむ機会の充実を図るため、各文化芸術団体の協力を得ながら、芸術体験イベントを開催し、気軽に文化芸術を体験できる場の提供に取り組めます。 ● 文化芸術の力を一層発揮するための環境づくりと文化芸術による人的・経済的交流の推進を図るため、官民一体の推進組織「岩手版アーツカウンシル」の創設に向けた体制構築等に取り組めます。 ● 県内各地域において文化芸術活動を支える人材を育成するため、アートマネジメント研修を始めとした専門研修の開催などに取り組めます。 ● 障がい者の芸術活動に対する理解を深め、創作活動を支援する人材を育成するため、障がい者芸術活動に関する研修等に取り組めます。 ● 国際大会で活躍するトップアスリートを育成するため、スーパーキッズの発掘・育成や、トップアスリートの競技力向上に向けた活動支援を図るとともに、県体育協会と連携し、新型コロナウイルス感染症予防に関する競技別ガイドラインに基づきながら国体に向けた選手強化に取り組めます。 ● 障がい者アスリートの発掘・育成を推進するため、障がい者アスリートの競技選択や活動機会の充実に向けた複数種目に取り組む機会の創出や、パラアスリートコーディネーターの配置によるパラアスリートの活動サポート等に取り組めます。 ● スポーツ医・科学の知見に基づく県民の健康増進を図るため、運動プログラム動画の配信によるトレーニング機会の拡充、健康づくり教室等の実施に取り組めます。 ● 「いわてアスレティックトレーナー」の養成に取り組むとともに、女性も含めたトレーナーのアスリートへの派遣、女性アスリートの健康問題に関する講習会の開催など、アスリートの育成に携わる指導者等の養成、資質向上に取り組めます。 	

26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります

（基本方向）

文化芸術を生かした地域活性化を図るため、岩手芸術祭をはじめとした文化イベントの開催などにより、人的・経済的な交流を推進します。

また、スポーツを生かした地域活性化を図るため、ラグビーワールドカップ 2019™や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを継承し、スポーツイベントの誘致・開催をはじめとしたスポーツツーリズムの拡充などを通じて、人的・経済的な交流の拡大に取り組みます。

【概要】

○政策項目に関連するいわて幸福関連指標 2 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

- ・具体的推進方策指標 5 指標は、達成度 A、B の指標が 4 指標（80%）、達成度 C の指標が 1 指標（20%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R1	比較
42 文化・スポーツ施設の入場者数(文化施設入場者数) ^{※1}	千人	168	③176	⑩170	⑩185	A	-	-	-
43 文化・スポーツ施設の入場者数(スポーツ施設入場者数) ^{※2}	万人	805	806	806	-	-	-	-	-

※1 岩手県内公立文化施設協議会加盟施設で行う自主催事入場者数

※2 県及び県内市町村の公立スポーツ・レクリエーション施設入場者数

【特記事項】

- ・文化・スポーツ施設の入場者数（スポーツ施設入場者数）は、調査結果が確定していないため、実績値は測定できませんでした。なお、令和元年度においては、スポーツ教室やスポーツイベントを実施するなど、スポーツ施設の利用促進に取り組みました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>具体的推進方策指標の達成度は、A 3指標 60%、B 1指標 20%、C 1指標 20%の5指標です。</p>	<p>具体的推進方策指標 5 指標は、達成度 A、B の指標が 4 指標（80%）、達成度 C の指標が 1 指標（20%）でした。</p>

(1) 文化芸術を生かした人的・経済的な交流の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
275 岩手芸術祭参加者数〔累計〕〔再掲〕	人	25,191	93,000	27,000	26,390	B
276 県立文化施設(県民会館、県立博物館、県立美術館)利用者数〔再掲〕	人	⑳438,274	462,500	449,500	757,566	A
277 文化芸術関連SNSフォロワー数	人	4,500	5,900	5,000	5,055	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
7	1,126	1,116	0	416	0	700	6 (86%)	1 (14%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (57%)	3 (43%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) スポーツを生かした人的・経済的な交流の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
278 スポーツ大会・合宿・イベントの参加者数〔累計〕	人	130,000	594,000	166,000	187,809	A
279 県内トップ・プロスポーツチームによるスポーツ教室等の参加者数〔累計〕	人	3,771	15,500	3,830	2,956	C

【特記事項】

- ・ 県内トップ・プロスポーツチームによるスポーツ教室等の参加者数〔累計〕は、県内トップ・プロスポーツチーム3チームとの連携により、目標を達成できるように取り組みましたが、1回当たりのスポーツ教室参加者数の減少や新型コロナウイルス感染症の影響により、年度末に予定していたスポーツ教室を中止したことなどから、達成度は【C】となりました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
5	1,208	1,205	0	2	0	1,203	6 (86%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (14%)	5 (72%)	1 (14%)	0 (0%)	1 (14%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- ・ 令和2年県民意識調査によると「文化芸術・スポーツを生かした地域づくり」の重要度は50位、満足度は28位となり、ニーズ度は49位となっています。

26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります

課 題	今後の方向
<具体的推進方策①>文化芸術を生かした人的・経済的な交流の推進	
<p>文化芸術を生かした地域活性化を図るため、三陸防災復興プロジェクト2019のレガシーを継承するとともに、「新しい生活様式」を踏まえた上で、本県の文化芸術の魅力を広く県内外へ発信していく必要があります。</p>	<p>多言語化対応にリニューアルした「いわての文化情報大事典」ホームページにより、民俗芸能等をはじめとした本県の文化芸術の魅力を広く県内外に発信します。</p> <p>「さんりく音楽祭」の開催などにより、県外の出演者と地元文化芸術団体との交流を継続しながら、つながりを深める取組を推進します。</p> <p>令和4年度の設立に向け構築に取り組んでいる官民一体の文化芸術推進体制「いわてアーツカウンスル」（仮称）の設立により、文化芸術の力を一層発揮するための環境づくりと県内の特色ある文化芸術による地域づくりを支援します。文化芸術活動に対する新型コロナウイルス感染症の影響について継続的に把握するとともに、新しい生活様式に対応した活動の支援を行います。</p>
<具体的推進方策②>スポーツを生かした人的・経済的な交流の推進	
<p>スポーツを生かした地域活性化を図るため、「ラグビー県いわて」の定着に向けた取組や、ラグビーワールドカップ2019岩手・釜石開催を契機とした国内外との交流の継続、スポーツ大会や合宿の誘致等による交流人口の拡大に向けた取組を進め、本県の豊かな環境を生かしたスポーツツーリズムの拡充を図る必要があります。</p> <p>県内トップ・プロスポーツチームと連携して行うスポーツ教室等において、参加者数が減少傾向にあるため、認知度向上に向けた情報発信の強化や関係者への働きかけ等を行う必要があります。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の1年延期を受け、「復興五輪」の理念と大会への興味関心が薄れないよう、機運醸成の取組や、より安全・確実な聖火リレー等の実施に向けた準備を行う必要があります。</p>	<p>ラグビーワールドカップ2019岩手・釜石開催のレガシーを生かし、メモリアルイベントの開催や、いわてスポーツコミッションを中心とした様々なスポーツ大会、合宿誘致などに取り組むとともに、本県の豊かな自然を生かしたスポーツアクティビティの創出・普及を促進するなど、スポーツツーリズムの拡充に取り組めます。</p> <p>トップ・プロスポーツチームと連携して行うスポーツ教室等の認知度向上を図るため、ホームページやSNS等による情報発信を強化するとともに、学校等への働きかけや、ニーズに応じた練習プログラムの提供などにより多くの方が参加できる取組を実施します。</p> <p>また、官民一体のスポーツ推進体制「いわてスポーツ推進プラットフォーム」の設立により、スポーツの力を生かした健康社会の実現と地域づくりに取り組めます。</p> <p>東日本大震災津波から10年の節目に開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、大会の価値の共有と機運醸成の新たな取組やホストタウン交流等の取組支援、市町村や関係機関と一体となり、安全・安心な聖火リレー・聖火フェスティバルの準備などに取り組めます。</p> <p>本県におけるスポーツ活動に対する新型コロナウイルス感染症の影響について、継続的に把握するとともに、活動の活性化に向けた支援策を講じます。</p>
総 括	
<p>以上のことから、文化芸術やスポーツを生かした地域活性化を図るため、震災復興支援等による国内外のつながりを生かした「さんりく音楽祭」などの文化イベントの開催や、ラグビーワールドカップ2019岩手・釜石開催や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたスポーツイベントを行うとともに、スポーツ大会や合宿の誘致などに取り組む、人的・経済的な交流を継続的に推進していきます。</p> <p>なお、文化スポーツ活動に対する新型コロナウイルス感染症の影響について、継続的に把握するとともに、活動の活性化に向けた支援策を講じます。</p>	
反映結果	

<新規事業の創設>

- 令和4年9月に本県で開催予定の「日本スポーツマスターズ2022」に向けた「日本スポーツマスターズ2022開催準備費（R3予算6,379千円）」を創設し、運営体制の整備や機運醸成の取組を推進します。
- 令和5年2月に本県で開催予定の「特別国民体育大会冬季大会スキー競技会」に向けて、「特別国民体育大会冬季大会スキー競技会開催準備費（R3予算47,959千円）」を創設し、施設整備等を推進します。

<既存事業の拡充>

- 三陸防災復興プロジェクト2019を通じた文化交流を継続するとともに、国内外からの復興支援に対する感謝を伝えるため「さんりく音楽魅力発信事業費（R3予算4,978千円）」を拡充し、東日本大震災津波から10年を迎える被災地において「さんりく音楽祭」の開催に取り組みます。
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした地域活性化を図るため、県内市町村におけるホストタウン交流等の支援や大会に向けた機運醸成等の取組、聖火リレー、聖火フェスティバルの安全・安心な実施に向けた準備・運営に取り組むとともに、「復興五輪ムーブメント推進事業費（R3予算264,724千円）」を拡充し、市町村と連携しながら、ホストタウン及び事前キャンプ地における新型コロナウイルス感染症対策に取り組みます。

<その他取組の改善強化等>

- 文化芸術を生かした国内外との交流を図るため、「いわての文化情報大事典」ホームページやSNSを活用した伝統文化の国内外への情報発信の強化に取り組みます。
- 文化芸術の力を一層発揮するための環境づくりと文化芸術による人的・経済的交流の推進を図るため、官民一体の推進組織「岩手版アーツカウンシル」の創設に向けた体制構築等に取り組みます。【再掲】
- ラグビーワールドカップ2019岩手・釜石開催による出場国等との新たな絆や経験を生かした人的・経済的交流を推進するため、メモリアルイベントの開催や「ラグビー県いわて」のPRに取り組みます。
- 日本でも有数の施設である、県営運動公園スポーツクライミング施設を生かした、国内・国際大会の誘致と施設の活用を推進します。
- スポーツを生かした地域活性化を図るため、トップ・プロスポーツチームとの連携によるスポーツ教室等の開催に取り組みます。
- 「いわてスポーツ推進プラットフォーム」の体制について引き続き検討するとともに、スポーツを通じた交流人口の拡大に向け、関係団体と連携し、情報発信や医療面も含めたサポート体制の充実、アフターケア等を充実させ、本県へのスポーツ合宿・大会の誘致に取り組みます。
- 文化スポーツ活動に対する新型コロナウイルス感染症の影響について継続的に把握するとともに、新しい生活様式に対応しWebを活用したイベント配信など、活動の活性化に向けた支援を行います。

40 世界遺産の保存と活用を進めます

（基本方向）

世界遺産等の価値を共有し、広めるため、「北海道・北東北の縄文遺跡群（御所野遺跡）」の世界遺産への新規登録や「平泉の文化遺産」の世界遺産への拡張登録に向けた取組、保存管理計画に基づく適切な保存管理や県民の理解増進、県内外への情報発信などの取組を推進します。

また、世界遺産を活用した人的・文化的交流を図るため、世界遺産を核として、県内の関連文化遺産のネットワークを構築します。

【概要】

○政策項目に関連するいわて幸福関連指標 2 指標は、達成度 B の指標が 1 指標（50%）、達成度 C の指標が 1 指標（50%）でした。

- ・具体的推進方策指標 3 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 2 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R1	比較
62 世界遺産等の来訪者数	千人	927	950	927	885	B	-	-	-
63 国、県指定文化財件数	件	㊦565	581	569	568	C	31 位 (3 位)	30 位 (3 位)	上昇 (横ばい)

【特記事項】

- ・ 国、県指定文化財件数は、指定文化財としての価値づけを担保するための来歴等についての更なる類例調査が必要となり、指定に至らなかった案件があったことから、達成度は【C】となりました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	<p>具体的推進方策指標 3 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 2 指標（100%）でした。</p>

(1) 世界遺産の新規・拡張登録の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
-	-	-	-	-	-	-

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度 (全指標)				成果指標の達成度 (全指標)			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	23	18	0	0	0	18	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 世界遺産の理解の増進による遺産の適切な保存管理・活用の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
435 「世界遺産授業」の受講者数[累計]	人	999	4,000	1,000	1,134	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度 (全指標)				成果指標の達成度 (全指標)			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	20	19	0	0	0	19	3 (75%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 世界遺産の持つ新たな魅力の発信

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
436 講演会・フォーラム等参加者数[累計]	人	600	2,600	620	600	B

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度 (全指標)				成果指標の達成度 (全指標)			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	7	7	0	0	0	7	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 世界遺産を活用した地域間交流の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
437 文化遺産ネットワーク構成資産数[累計]	箇所	0	10	0	—	—

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度 (全指標)				成果指標の達成度 (全指標)			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	6	6	0	0	0	6	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- ・ 令和2年県民意識調査によると「世界遺産を守り将来に伝えていくための取組」の重要度は45位、満足度は6位となり、ニーズ度は50位となっています。

40 世界遺産の保存と活用を進めます

課 題	今後の方向
<具体的推進方策①> 世界遺産の新規・拡張登録の推進	
世界遺産等の価値を共有し、広めていくため、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産の新規登録及び「平泉の文化遺産」の拡張登録のための取組を進めていく必要があります。	県、関係市町及び関係機関等の連携を図りながら、調査研究及び推薦書作成等を進め、世界遺産登録を目指して取り組みます。
<具体的推進方策②> 世界遺産の理解の増進による遺産の適切な保存管理・活用の推進	
世界遺産を人類共通の宝として未来に継承していくため、適切な保存管理・活用を進めていく必要があります。	保存管理計画に基づく適切な保存管理や県民等の理解増進、県内外への情報発信などに取り組みます。
<具体的推進方策③> 世界遺産の持つ新たな魅力の発信	
世界遺産に対する興味関心を高め持続させていくため、平泉文化をはじめ先端的な研究成果を広く各方面に発信し、学術文化交流の活性化と世界遺産の理解向上を図る必要があります。	平泉の文化遺産ガイド施設（仮称）を整備するとともに、平泉に関する学術研究等の総合的な情報発信に取り組みます。
<具体的推進方策④> 世界遺産を活用した地域間交流の推進	
世界遺産を活用した人的・文化的交流を進めるため、本県が誇る歴史文化や多彩な伝統文化などの地域資源について、世界遺産と連携した活用を進めていく必要があります。	「明治日本の産業革命遺産（橋野鉄鉱山）」をはじめ世界遺産を核としたネットワークによる文化遺産の情報発信や交流事業に取り組みます。
総 括	
以上のことから、世界遺産等の価値を共有し、広めるため、世界遺産への新規・拡張登録や適切な保存管理・活用に取り組みます。 また、世界遺産を活用した人的・文化的交流を図るため、「明治日本の産業革命遺産（橋野鉄鉱山）」などを核とした関連文化遺産ネットワークの構築による文化遺産の情報発信等に取り組みます。	
反映結果	
<新規事業の創設>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に備えて、世界遺産の価値や重要性について県民理解の更なる増進を図るため、「御所野遺跡世界遺産登録記念事業費（R3 予算 4,156 千円）」を創設し、御所野遺跡を含む縄文遺跡群の価値の普及や情報発信に取り組みます。 ● 「平泉」の世界遺産登録 10 周年を契機として、世界遺産を確実に未来へ継承するため、「平泉世界遺産登録 10 周年記念事業費（R3 予算 8,535 千円）」を創設し、世界遺産の理解増進や保存活用の取組を推進します。 ● 令和 3 年度に開館する平泉の文化遺産ガイド施設（仮称）を適切に管理運営するため、「平泉文化遺産ガイド施設管理運営費（R3 予算 102,954 千円）」を創設し、平泉の価値や平泉に関する学術研究等の総合的な情報発信に取り組みます。 	
<既存事業の拡充>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産の新規登録に向けた取組を推進するため、「世界遺産登録推進事業費（縄文遺跡群世界遺産登録推進事業費）（R3 予算 22,544 千円）」を拡充し、世界遺産委員会への対応や認知度を高めるための PR 活動に取り組みます。 ● 質の高い旅行商品の開発・売り込みを図るため、「御所野遺跡等観光資源連携推進事業費【再掲】（R3 予算 8,145 千円）」を拡充し、御所野遺跡の世界遺産登録の実現に合わせて管内での登録記念事業や体験・交流型観光のブラッシュアップに取り組むとともに、新たに八戸や鹿角等隣接圏域等との連携した周遊観光の推進に取り組みます。 ● 「観光で稼ぐ」地域づくりの推進及び質の高い旅行商品の開発・売り込みを図るため、「平泉の世界遺産登録 10 周年交流人口拡大推進事業費【再掲】（R3 予算 10,609 千円）」を拡充し、新たに平泉の文化遺産の 	

価値を発信するコンテンツ整備に取り組みます。

<その他取組の改善強化等>

- 「明治日本の産業革命遺産（橋野鉄鉱山）」を核とした県内の関連文化資源について、関係市町村と連携したシンポジウムの開催、パンフレットやWebによる情報発信に取り組みます。

41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が 受け継がれる環境をつくり、交流を広げます

（基本方向）

県民の郷土愛を醸成するため、本県出身の偉人や様々な文化財などを活用し、歴史への理解促進に向けた取組を推進するとともに、本県が誇る民俗芸能について、触れる機会の創出や情報発信により、伝統文化への理解を深め、次世代へ受け継ぐ取組を推進します。

また、本県の豊かな歴史資源や本県が誇る伝統文化を生かした地域活性化を図るため、様々な文化財や多種多様な民俗芸能などの伝統文化を活用し、人的・経済的な交流を推進します。

さらに、市町村と連携しながら、文化財の適切な保存・継承を行うとともに、地域の活性化のために活用が図られるよう取り組みます。

【概要】

○政策項目に関連するいわて幸福関連指標 3 指標は、達成度 A、B の指標が 2 指標（67%）、達成度 C の指標が 1 指標（33%）でした。

- ・ 具体的推進方策指標 6 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A の指標が 3 指標（60%）、達成度 D の指標が 2 指標（40%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R1	比較
62 世界遺産等の来訪者数	千人	927	950	927	885	B	-	-	-
63 国、県指定文化財件数	件	㊦565	581	569	568	C	31 位 (3 位)	30 位 (3 位)	上昇 (横ばい)
64 民俗芸能ネットワーク加盟 団体数	団体	396	396	396	405	A	-	-	-

【特記事項】

- ・ 国、県指定文化財件数は、指定文化財としての価値づけを担保するための来歴等についての更なる類別調査が必要となり、指定に至らなかった案件があったことから、達成度は【C】となりました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>A 3指標 60% D 2指標 40% 5指標</p>	<p>具体的推進方策指標 6 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A の指標が 3 指標（60%）、達成度 D の指標が 2 指標（40%）でした。</p>

(1) 民俗芸能の公演発表などによる、伝統文化への理解促進と情報発信

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
438 「岩手県民俗芸能フェスティバル」鑑賞者数 【累計】	人	700	3,200	800	818	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	10	8	0	5	0	3	1 (50%)	0 (0%)	1 (50%)	0 (0%)	1 (50%)	0 (0%)	1 (50%)	0 (0%)

(2) 民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
439 観光客数(歴史・文化に関する観光地点での入込客数)	千人	3,325	3,375	3,345	—	—
440 「食の匠」組織による食文化伝承活動回数【再掲】	回	26	34	28	30	A

【特記事項】

- 観光客数(歴史・文化に関する観光地点での入込客数)は、調査結果が確定していないため、実績値は測定できませんでした。なお、令和元年度においては、外国人観光客に対応するため、「いわての文化情報大事典」ホームページの多言語化などに取り組みました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	12	11	1	0	0	10	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (33%)	2 (67%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 様々な文化財などを活用した歴史への理解促進と情報発信

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
441 「いわての文化情報大事典」ホームページ訪問者数	人	398,181	417,000	406,000	310,570	D

【特記事項】

- 「いわての文化情報大事典」ホームページ訪問者数は、ホームページの全面リニューアルの周知が進まなかったことから、令和元年度のホームページ訪問者数が310,570人ととどまり、達成度は【D】となりました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	10	9	0	0	0	9	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 様々な文化財などを活用した交流の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成度
442 文化財のユニークベニュー活用件数〔累計〕	件	25	100	40	91	A
443 文化財保存活用地域計画を策定した市町村数〔累計〕	市町村	—	22	3	1	D

【特記事項】

- 文化財保存活用地域計画を策定した市町村数〔累計〕は、一部市町村において計画策定に着手後、ワーキンググループや協議会等を開催したところ、追加の調査項目等が発生し、策定スケジュールを見直す必要性が生じたため、達成度は【D】となりました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
11	638	613	265	1	8	339	6 (86%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (14%)	6 (50%)	2 (17%)	2 (17%)	2 (17%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- 令和2年県民意識調査によると「郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境」の重要度は40位、満足度は10位となり、ニーズ度は46位となっています。

41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が 受け継がれる環境をつくり、交流を広げます

課 題	今後の方向
<具体的推進方策①> 民俗芸能の公演発表などによる、伝統文化への理解促進と情報発信	
<p>民俗芸能の保存・継承や後継者育成を促進するため、関係団体等と連携した民俗芸能団体の活動を支援する必要があります。</p> <p>また、民俗芸能に対する県民の理解促進が重要であり、特に若年層の民俗芸能への興味関心を高める必要があります。</p>	<p>「岩手県民俗芸能フェスティバル」の開催により、民俗芸能の鑑賞・発表の場の確保に取り組むとともに、若い世代の参加・交流を図り世代間・地域間交流や次世代による保存・継承活動の機運醸成に取り組めます。</p>
<具体的推進方策②> 民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進	
<p>民俗芸能団体等と連携しながら、本県の民俗芸能の魅力を生かした交流人口の拡大に取り組む必要があります。</p> <p>また、本県の誇る食文化などの伝統文化を生かした交流を促進していく必要があります。</p>	<p>「岩手県民俗芸能フェスティバル」への県外団体への招待や、「いわての文化情報大事典」ホームページによる伝統文化の動画配信を行うなど、伝統文化を生かした交流人口の拡大に取り組めます。</p> <p>また、「食の匠」による食文化の発信の支援などに取り組めます。</p>
<具体的推進方策③> 様々な文化財などを活用した歴史への理解促進と情報発信	
<p>文化財は地域の歴史を理解する上で貴重な財産であり、地域資源の一つと捉え、広く県民にその価値を発信していく必要があります。</p> <p>また、「いわて文化情報大事典」ホームページの訪問者数が伸び悩んでいることから、魅力向上のほか認知度向上に取り組んでいく必要があります。</p>	<p>「いわての文化情報大事典」ホームページの充実を図るとともに、各種会議の場や広報媒体を活用してPRするなど情報発信の強化に取り組めます。</p>
<具体的推進方策④> 様々な文化財などを活用した交流の推進	
<p>文化財は、地域の活性化の取組の核となるものとして、次世代へ確実に保存・継承するとともに、積極的に活用していく必要があります。</p>	<p>歴史的建造物や史跡公園などの文化財をユニークベニューとして活用を推進していきます。</p> <p>また、文化財の保存と活用に関する大綱（岩手県文化財保存活用大綱）を策定するとともに、市町村の文化財保存活用地域計画の策定に向けて情報提供等に取り組めます。</p>
総 括	
<p>以上のことから、県民の郷土愛を醸成し、本県の伝統文化を生かした地域活性化を図るため、本県が誇る民俗芸能の鑑賞・発表の場を確保し、保存継承活動の機運醸成に取り組むとともに、「岩手県民俗芸能フェスティバル」の開催や「いわての文化情報大事典」ホームページによる伝統文化の動画配信を行うなど、本県の民俗芸能の魅力の発信を行い、交流人口の拡大に取り組めます。</p> <p>また、本県の多種多様な伝統文化や文化財などを積極的に活用した地域の活性化に取り組めます。</p>	
反映結果	
<新規事業の創設>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 「新しい生活様式」に対応した文化芸術に親しむ機会を確保するため、「文化芸術イベント等映像配信事業費【再掲】(R3 予算 5,772 千円)」を創設し、Webを活用した文化芸術関係イベントの映像配信に取り組めます。 	
<その他取組の改善強化等>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 本県の民俗芸能に対する県内外の関心を高め、保存・継承活動の機運醸成を図るため、「岩手県民俗芸能フェスティバル」の開催などにより、本県の多種多様な民俗芸能の魅力の発信に取り組めます。 ● 本県農林水産業をけん引する女性農林漁業者を育成するため、「幸せ創る女性農林漁業者育成事業費【再掲】(R3 予算 9,139 千円)」により、引き続き女性が活躍しやすい環境づくりやネットワークづくり、家族経営協定の締結、「食の匠」による地域食文化の伝承活動などの取組を推進します。 ● 本県の文化財等の価値の理解の促進及び民俗芸能の魅力を生かした交流人口の拡大を図るため、伝統文化の動画 	

配信等による「いわての文化情報大事典」ホームページの内容の充実や、Twitter 及び Facebook を活用した広報などによるホームページの認知度向上に取り組みます。

- 本県の文化財を活用した地域活性化を図るため、県内の文化財をユニークベニューとして活用したイベント等の取組事例を収集、紹介するほか、文化芸術団体や市町村への取組事例等の情報提供に取り組みます。
- 令和2年度内に策定する岩手県文化財保存活用大綱に基づき、市町村が実施する文化財保存活用地域計画等の策定や未指定の文化財を含めた文化財悉皆調査等への支援に取り組みます。

「いわて県民計画(2019~2028)」と「第3期岩手県文化芸術振興指針」の対応状況

いわて県民計画(2019~2028)(平成31年3月策定)

【政策推進プラン】

政策分野	政策項目	具体的推進方策
I 健康・余暇	4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます	(1)県民が日常的に文化芸術に親しむ機会の充実
		(2)文化をめぐる新しい動向に対応した取組の推進
		(3)障がい者の文化芸術活動の推進
III 教育	12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます	(3)学校における文化芸術教育の推進
	19 文化芸術・スポーツを担う人材を育てます	(1)文化芸術活動を担う人材の育成 (2)文化芸術活動を支える人材の育成
IV 居住環境・コミュニティ	26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくりまします	(1)文化芸術を生かした人的・経済的な交流の推進
VII 歴史・文化	40 世界遺産の保存と活用を進めます	(1)世界遺産の新規・拡張登録の推進
		(2)世界遺産の理解の増進による遺産の適切な保存管理・活用の推進
		(3)世界遺産の持つ新たな魅力の発信
		(4)世界遺産を活用した地域間交流の推進
41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます。	(1)民族芸能の公演発表などによる、伝統文化への理解促進と情報発信	
	(2)民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進	
	(3)様々な文化財などを活用した歴史への理解促進と情報発信	

【復興推進プラン】

政策分野	取組項目	取組内容
II 暮らしの再建	3 教育・文化・スポーツ	9 文化芸術環境の整備や伝統文化などの保存と継承を支援します
IV 未来のための伝承・発信	2 復興情報発信	24 復興の姿を重層的に発信します

【新しい時代を切り拓くプロジェクト】

政策分野	取組項目	具体的な取組内容
3 三陸防災ゾーンプロジェクト	(1)「防災」で世界とつながる三陸	東日本大震災津波伝承館や震災津波関連資料などを活用した東日本大震災津波の教訓や復興の姿の発信
4 北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト	(2)北海道・北東北広域交流圏の形成による交流人口の拡大	「北海道・北東北の縄文遺跡群」等を生かした観光地域づくりの推進
9 文化・スポーツレガシープロジェクト	(1)文化芸術の力を一層発揮するための環境づくりと人的・経済的交流の推進	ア 官民一体による文化芸術推進体制「岩手版アーツカウンシル」の構築
		イ アートマネージャーの設置・派遣等
		ウ 復興支援による国内外との様々な交流を発展させた国際的文化芸術イベントの開催等

第3期岩手県文化芸術振興指針(令和2年3月策定)

大項目	中項目
2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備	(2)優れた芸術活動や美術活動への顕彰の実施
4 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築	(1)文化芸術鑑賞・活動を支援するネットワークの形成
	(4)県立文化施設の整備や機能の拡充
5 障がい者による文化芸術活動の総合的推進	(2)文化芸術活動を発表・鑑賞できる機会の充実
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(5)文化をめぐる新しい動きへ対応した取組の推進
2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備	(6)障がい者による文化芸術活動の支援
5 障がい者による文化芸術活動の総合的推進	(2)文化芸術活動を発表・鑑賞できる機会の充実
2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備	(3)児童生徒の文化芸術の鑑賞機会の提供と文化活動の支援
2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備	(3)児童生徒の文化芸術の鑑賞機会の提供と文化活動の支援
4 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築	(2)文化芸術を生かした地域づくりに取り組む人材の育成
5 障がい者による文化芸術活動の総合的推進	(1)障がい者による創造性あふれる創作活動の支援
2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備	(2)優れた芸術活動や美術活動への顕彰の実施
3 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	(1)県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報の発信
4 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築	(4)県立文化施設の整備や機能の拡充
5 障がい者による文化芸術活動の総合的推進	(2)文化芸術活動を発表・鑑賞できる機会の充実
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(2)世界遺産登録に向けた取組と保存管理・活用の推進
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(2)世界遺産登録に向けた取組と保存管理・活用の推進
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(3)民俗芸能の保存・継承の支援
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(5)文化をめぐる新しい動きへ対応した取組の推進
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(6)文化芸術を通じた交流の推進
3 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	(1)県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報の発信

大項目	中項目
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(1)東日本大震災津波からの復興と文化交流の推進
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(3)民俗芸能の保存・継承の支援
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(4)文化財等の保存と活用
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(1)東日本大震災津波からの復興と文化交流の推進

大項目	中項目
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(1)東日本大震災津波からの復興と文化交流の推進
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(2)世界遺産登録に向けた取組と保存管理・活用の推進
4 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築	(5)官民一体による文化芸術推進体制の構築
4 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築	(5)官民一体による文化芸術推進体制の構築
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(1)東日本大震災津波からの復興と文化交流の推進

「第3期岩手県文化芸術振興指針」に基づく令和2年度の取組状況について

「第3期岩手県文化芸術振興指針」に掲げる指標の進捗状況については第32回以降の審議会において提示を予定

《施策の柱》

1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進
 (1) 東日本大震災津波からの復興と文化交流の推進
 (2) 世界遺産登録に向けた取組と保存管理・活用の推進
 (3) 民俗芸能の保存・継承の支援
 (4) 文化財等の保存と活用
 (5) 文化をめぐる新しい動きへ対応した取組の推進
 (6) 文化芸術を通じた交流の推進

2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備
 (1) 県民の文化芸術活動の推進
 (2) 優れた芸術活動や美術活動への顕彰の実施
 (3) 児童生徒の文化芸術の鑑賞の機会の提供と文化芸術活動の支援
 (4) 若者の文化芸術活動の支援
 (5) 高齢者の文化芸術活動の支援
 (6) 障がい者による文化芸術活動の支援

3 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信
 (1) 県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報の発信
 (2) 自治体広報誌・生活情報誌への文化芸術情報の掲載
 (3) 国内外における公演や展示などへの支援
 (4) 大型イベントなどを契機とした文化プログラムの実施

4 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築
 (1) 文化芸術鑑賞・活動を支援するネットワークの形成
 (2) 文化芸術を生かした地域づくりに取り組む人材の育成
 (3) 岩手県文化振興金による文化芸術活動の支援
 (4) 県立文化施設の整備や機能の拡充
 (5) 官民一体による文化芸術推進体制の構築

5 障がい者による文化芸術活動の総合的推進
 (1) 障がい者による創作性あふれる創作活動の支援
 (2) 文化芸術活動を発表・鑑賞できる機会の充実
 (3) 県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報発信
 (4) 自治体広報誌・生活情報誌への文化芸術情報の掲載
 (5) 岩手県文化振興基金による文化芸術活動の支援

番号	施策の柱との関連					事業名	事業概要	予算額(千円) (12月現計)	取組状況
	1	2	3	4	5				
①	●	●				海外との絆を活かした文化芸術形成促進事業費	東日本大震災津波からの復興を契機とした海外との文化交流を活かし、県民に、著名な音楽家等による文化芸術の鑑賞機会を提供するとともに、学校訪問演奏会や技術指導等による人材育成事業を実施する。	1,131	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
②	●	●				いわて復興の絆コンサート開催事業	復興の絆を活かし、著名な音楽家を招聘してコンサートを開催するとともに、復興支援への感謝のメッセージを発信する。	11,080	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
③	●	●				さんりく音楽魅力発信事業費	被災地の文化芸術を通じた地域活性化を推進するため、官民が連携して「さんりく音楽祭2020」を開催	4,797	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
④	●	●				被災地児童生徒文化芸術支援事業費	被災地における児童生徒の文化芸術活動の鑑賞を促進するため、文化芸術イベント等の参加に要する経費を支援	1,000	R2.12.11 県立久慈東高校(2年生、105人)実施。
⑤	●	●			●	岩手芸術祭開催費	県民の優れた文化芸術活動の発表の場と鑑賞の機会を提供するため、本県最大の文化芸術の祭典「岩手芸術祭」を開催	15,831	・R2.10.3～R3.2.28 県民会館をメイン会場として開催(美術展、舞台公演、等) ・R2.10.3総合フェスティバル開催(入場者:約1,000人、出演者:11団体、129人)
⑥	●	●			●	岩手芸術祭地域活性化魅力発信事業費	本県最大の文化芸術の祭典「岩手芸術祭」の全県的な盛り上げを図るため、創作体験や地域の文化催事との連携イベントを開催	9,260	・R3.1.22～24 一関文化センターを会場として地域版総合フェスティバルを開催 ・R3.1.24舞台公演(入場者:約600人、出演者:11団体、108人)、R3.1.22～24美術展(来場者:406人)
⑦	●	●			●	いわてアール・ブリュット魅力発信事業費	県民のアール・ブリュットへの関心を高めるとともに、アール・ブリュット作家の創作意欲の醸成を図るため、県内の優れた作品を集めた巡回展を開催するほか、県民への普及啓発の取組を実施	7,408	①R2.11.29～12.13 イオンモール盛岡(盛岡市)、528人 ②R2.12.25～28 北のチョコレート工場&店舗 2door(二戸市)、317人 ③R3.1.9～22 一関市民センター なのはなプラザ(一関市)、421人 ④R3.2.8～21 イオンタウン釜石
⑧	●	●			●	障がい者芸術活動支援事業費	障がい者の文化芸術活動を支援する人材育成や、関係者のネットワーク形成を行うため、「障がい者芸術活動支援センター」を運営して支援活動を実施	8,827	(社福)岩手県社会福祉事業団に運営委託し、相談対応や各種研修会等を実施 【第28回岩手県障がい者文化芸術祭】 ・作品展示:R2.11.12～29 ふれあいランド岩手 ・ふれあい音楽祭:動画をWEB配信(R2.11.28～12.27)
⑨		●				高齢者文化活動振興事業費補助	高齢者による文化芸術活動の振興、生きがいと健康づくりを推進するため、「岩手県長寿社会健康と福祉のまつり」開催に要する経費を支援	1,839	・R2.6.5～7「岩手県長寿社会健康と福祉のまつり」作品展(盛岡市民文化ホール、応募:91点、来場者:429人) ・R2.7.12 将棋大会(北上市総合福祉センター、参加:66人) ・R2.12.13 囲碁大会(中止)
⑩		●			●	青少年芸術普及事業	子どもたちが等しく優れた文化芸術に触れる機会を確保するため、県内各地で開催される芸術鑑賞会に要する経費を支援	3,489	新型コロナウイルス感染症の影響により、29公演中25公演中止
⑪	●	●	●			国民文化祭参加推進事業費補助	本県の文化芸術の全国への発信及び文化芸術団体の資質の向上を図るため、国民文化祭出演に要する経費を支援	410	新型コロナウイルス感染症の影響により「みやざき大会」が延期(R3.7)、出演団体の派遣中止
⑫	●	●				いわての民俗芸能活性化事業費	民俗芸能の保存・継承や後継者の育成等を図るため、「民俗芸能フェスティバル」を開催するとともに、新たに担い手育成・確保のため、首都圏の高校生等との交流や著名人を活用した普及啓発等の取組を実施	12,530	R2.12.5「民俗芸能フェスティバル」を開催(岩手県民会館、来場者:414人、出演団体8団体(東京からのリモート出演1団体、ビデオ出演1団体含む))
⑬	●	●				郷土芸能復興支援事業費補助	被災地における郷土芸能活動の保存・継承を支援するため、市町村が実施する郷土芸能団体等への活動再開支援に要する経費を支援	7,500	「両石虎舞保存会」(釜石市)に交付決定
⑭	●					ソフトパワーいわて戦略推進事業費(マンガ郷いわて推進事業費)	国内外で注目度が上昇している「マンガ」を活用し、伝統芸能、工芸、食文化など本県の魅力を発信するとともに、交流人口拡大の取組を推進	17,050	・コミックいわてWEBに月1本以上マンガを掲載(R3.1現在12話掲載) ・R3.3.19 単行本「コミックいわて」第10巻発行予定 ・第10回いわてマンガ大賞コンテスト開催(募集期間R2.6.17～9.14、表彰式12.6(アイーナ))
⑮	●					いわての文化国際化推進事業費	「マンガ」を活用した海外との文化交流を実施するとともに、新たに、本県の特徴的な文化資源(民俗芸能等)を生かした首都圏での官民連携による情報発信の取組を実施	12,545	・R3.3 多言語版「コミックいわて」配布用冊子を作成予定 ・R2.6 第10回いわてマンガ大賞コンテストへのオンライン投稿フォーム作成

番号	施策の柱との関連					事業名	事業概要	予算額(千円) (12月現計)	取組状況
	1	2	3	4	5				
⑯		●				文学の国いわて推進事業費	本県における文芸活動の振興を図るため、本県ゆかりの作家による講演会等を開催	2,808	・R2.11.28 柚月裕子氏による講演会を開催 ・R2.12.19 「文学の国 いわて塾」第1回開催 ・R3.1.17 「文学の国 いわて塾」第2回開催(リモート) ・R3.1.24 「文学の国 いわて塾」第3回開催(リモート)
⑰	●					民俗文化地域連携事業費	民俗文化を活用した地域振興を図るため、鳥取県及び徳島県と連携し、PRイベントを開催	5,106	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
⑱				●		いわて文化芸術王国構築事業費 (文化芸術振興基盤強化事業費)	文化芸術イベントの企画調整を行う「文化芸術企画調整マネージャー」を配置するとともに、官民一体による文化芸術推進体制の構築を推進	19,486	・岩手県文化振興事業団内に「文化芸術企画調整マネージャー」を配置し、県内4広域振興圏の「文化芸術活動支援ネットワーク」と連携 ・県内の文化芸術の担い手を対象としたアートマネジメント研修を開催(第1回: R3.1.25、25人参加、第2回: R3.2.9、第3回: R3.3.5(予定)、第4回: R3.3.18(予定)、県外講師はオンライン参加)
⑲			●		●	いわて文化芸術王国構築事業費 (いわて文化芸術王国構築事業費)	本県の特徴ある文化資源を国内外に発信するため、ホームページ「いわての文化情報大事典」を運営	1,244	・ホームページ、Facebook、Twitterを活用した文化芸術情報を発信 ・県内の文化芸術活動の様子をYouTube(月1回程度)に掲載 令和2年度掲載件数:12件(R3.2.4現在)
⑳	●					世界遺産登録推進事業費	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた取組を強化するとともに、「平泉の文化遺産」の拡張登録、「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産委員会決議事項に対応した取組等を実施	60,829	・「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けイコモスの現地調査等に対応 ・「平泉の文化遺産」の拡張登録に向け、県・関係市町において調査研究等を継続実施
㉑	●					世界遺産保存活用推進事業費	「平泉の文化遺産」、「橋野鉄鉱山」、「御所野遺跡」の価値等の理解促進を図るため一体的な情報発信や、人的・文化的交流を図るため世界遺産を中核とした関連文化資源のネットワーク構築に向けた取組を実施	10,576	・知事や職員による「世界遺産出前授業」の実施(実施校:20校、受講者:1,288人) ・世界遺産パネル巡回展の開催(平泉・釜石・一戸) 【期間・場所】R2.6.27~7.10 道の駅平泉 R2.7.18~7.31 釜石市立鉄の歴史館 R2.8.4~8.18 御所野縄文博物館 ・R2.11.28「橋野鉄鉱山世界遺産登録5周年記念シンポジウム」開催(釜石市民ホールTETTO 来場者数:160人)
㉒	●					平泉文化遺産ガイダンス施設整備事業費	「平泉の文化遺産」を総合的に紹介するガイダンス施設の整備に係る建築工事及び展示制作等を実施	1,377,033	令和3年秋の開館に向け、施設の建築工事・展示物の製作等を実施
㉓		●				文化芸術創作活動奨励事業費	文化芸術活動を奨励するため、優れた芸術・美術活動を行った本県在住者等を対象とした顕彰を実施	1,415	・令和元年度岩手県芸術選奨受賞者:3人1団体 ・令和元年度岩手県美術選奨受賞者:5人 ・R2.9.18 表彰式開催
㉔		●				いわて暮らしの文化特別文化知事表彰	文化芸術活動を奨励するため、県民の日常生活に密着した文化的・芸術的な活動に、長年にわたり取り組んだ者等を対象とした顕彰を実施	365	R3.3 表彰式実施予定
㉕				●		県民会館施設整備費	文化芸術活動の発表・鑑賞に係る安全・安心な環境づくりを推進するため、県民会館における改修等を実施	18,494	来館者が施設を安全・安心な状態で使用できるよう工事を実施(地下受電室空調機、監視カメラ設備)
㉖				●		岩手県文化振興基金助成事業 ※公益財団法人岩手県文化振興事業団による助成事業	県内の文化芸術活動の一層の活性化を促進するため、岩手県文化振興基金を基に、文化芸術団体が行う自主的活動に対する助成を実施	-	28件の助成を実施予定

《新型コロナウイルス感染症対策事業》

番号	事業名	事業概要	予算額(千円)	取組状況	備考
①	県民会館・公会堂感染症予防対策事業費	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、県民会館及び公会堂に非接触型体温計や消毒液等を配備	2,526	感染症予防対策物品を配備済 ・県民会館:サーモグラフィカメラ1台、非接触型体温計10台、消毒液 ・公会堂:非接触型体温計5台、消毒液	県議会令和2年4月臨時会(R2.4.30)可決
②	いわて文化芸術活動支援事業費補助	新型コロナウイルスの影響により、中止・延期を余儀なくされている文化芸術活動を促進するため、県内の文化芸術団体等による成果発表等に要する経費を支援	20,000	・募集期間 R2.9.8~R3.1.29 ・申請件数 24件 11,630千円 ・採択件数 23件 10,630千円(R3.1.29現在)	県議会令和2年9月臨時会(R2.9.8)可決
③	いわて文化施設利用促進事業費補助	文化施設等における収容率・収容人員が制限される中、県内の文化芸術団体等の発表機会と県民の鑑賞機会を確保するため、県民会館(大ホール・中ホール)及び公会堂(大ホール)の利用(付属設備を含む。)に要する経費を支援	14,473	・県民会館:採択件数60件、補助金額6,142千円 ・公会堂:採択件数2件、補助金額9千円(R3.1.28現在)	県議会令和2年9月臨時会(R2.9.8)可決
④	文化イベント等映像配信事業費	「新しい生活様式」に対応した文化芸術活動を推進するため、岩手県芸術祭「総合フェスティバル」などの県主催事業等において、リモート出演・配信を実施	6,916	・R2.10.3 岩手芸術祭「総合フェスティバル」:県内4箇所からリモート出演・中継を実施(盛岡市民文化ホール、奥州市文化会館、釜石市民ホール、二戸市民文化会館) ・R2.12.5 岩手県民俗芸能フェスティバル:県民会館と東京都豊島区会場の双方向での映像配信	県議会令和2年9月臨時会(R2.9.8)可決

文化スポーツ部 文化振興課 令和3年度の主要事業

(単位：百万円、%)

区分	3年度当初予算額	2年度当初予算額	増減額	増減率
当初予算額	1,316.7	1,835.8	△ 519.1	△ 28.3
うち震災対応分	12.1	19.6	△ 7.5	△ 38.3

■主要事業一覧

【復興推進関係】 (文化スポーツ部 文化振興課)

(単位：百万円)

事業名	R3当初 予算額	R2当初 予算額	差引	再 掲	事業内容
Ⅱ 暮らしの再建					
【Ⅱ】3 教育・文化・スポーツ					
生きる活力を生み出し、地域への誇りや愛着を深めるため、文化芸術・スポーツ活動の振興や伝統文化などの保存・継承を支援します。					
【Ⅱ】3-⑨ 文化芸術環境の整備や伝統文化などの保存と継承を支援します					
海外との絆を活かした文化芸術形成促進事業費 (いわて復興の絆コンサート開催事業費) (文化振興課)	11.1	11.1	0.0		復興の取組が10年を迎え、復興支援への感謝のメッセージを発信するとともに、震災の記憶の風化防止を図るため、著名な音楽家による公演を実施
さんりく音楽魅力発信事業費 (文化振興課)	5.0	4.8	0.2		国内外からの支援に感謝の気持ちを伝えるとともに、文化芸術を通じた被災地の地域活性化を推進するため、震災から10年を迎える被災地において「さんりく音楽祭2021」を開催
Ⅳ 未来のための伝承・発信					
【Ⅳ】2 復興情報発信					
将来にわたって復興への理解を深め、継続的な復興への参画を促進するため、復興の姿を国内外に積極的に発信していきます。					
【Ⅱ】3-⑨ 文化芸術環境の整備や伝統文化などの保存と継承を支援します					
海外との絆を活かした文化芸術形成促進事業費 (いわて復興の絆コンサート開催事業費) (文化振興課)	11.1	11.1	0.0	○	復興の取組が10年を迎え、復興支援への感謝のメッセージを発信するとともに、震災の記憶の風化防止を図るため、著名な音楽家による公演を実施
さんりく音楽魅力発信事業費 (文化振興課)	5.0	4.8	0.2	○	国内外からの支援に感謝の気持ちを伝えるとともに、文化芸術を通じた被災地の地域活性化を推進するため、震災から10年を迎える被災地において「さんりく音楽祭2021」を開催

《政策推進関係》（文化スポーツ部 文化振興課）

（単位：百万円）

事業名	R3当初 予算額	R2当初 予算額	差引	新規 の別	再 掲	事業内容
「10の政策分野」に基づく施策の推進						
I 健康・余暇						
《I》4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます						
年齢、性別、障がいの有無に関わらず、県民が身近な場所で手軽に文化芸術活動を発表・鑑賞する機会の充実に取り組むとともに、県民が心身ともに健康的に暮らせるよう、若年期から高齢期までのライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実に図ります。						
《I》4-① 県民が日常的に文化芸術に親しむ機会の充実						
さんりく音楽魅力発信事業費 （文化振興課）	5.0	4.8	0.2	一部 新規	○	国内外からの支援に感謝の気持ちを伝えるとともに、文化芸術を通じた被災地の地域活性化を推進するため、震災から10年を迎える被災地において「さんりく音楽祭2021」を開催
岩手芸術祭開催費 （文化振興課）	14.8	15.8	△ 1.0			県民の文化芸術活動の発表の場と鑑賞の機会を提供するため、本県における文化芸術の祭典「岩手芸術祭」を開催
岩手芸術祭地域活性化魅力発信事業費 （文化振興課）	7.7	9.3	△ 1.6			本県における文化芸術の祭典「岩手芸術祭」の取組を県全体に波及させるため、創作体験や地域の文化催事との連携イベントを開催
文化芸術イベント等映像配信事業費 （文化振興課）	5.8	—	皆増	新規		新しい生活様式に対応した文化振興を図るため、文化イベント等（岩手芸術祭総合フェスティバル等）におけるリモート出演・オンライン鑑賞等を実施
海外との絆を活かした文化芸術形成促進事業費 （いわて復興の絆コンサート開催事業費） （文化振興課）	11.1	11.1	0.0		○	復興の取組が10年を迎え、復興支援への感謝のメッセージを発信するとともに、震災の記憶の風化防止を図るため、著名な音楽家による公演を実施
いわて文化芸術王国構築事業費（いわて文化芸術王国構築事業費） （文化振興課）	1.2	1.2	0.0			本県の特徴ある文化資源について、広く発信するため、ホームページ「いわての文化情報大事典」を運営
いわて文化芸術王国構築事業費（文化芸術振興基盤強化事業費） （文化振興課）	18.8	19.5	△ 0.7			県内の文化芸術活動を促進するため、「文化芸術コーディネーター」を配置するとともに、官民一体による文化芸術推進体制の構築を推進
文学の国いわて推進事業費 （文化振興課）	2.6	2.8	△ 0.2			本県における文芸活動の振興を図るため、本県ゆかりの作家による講演会等を開催するとともに、若年層を対象とした専門家による技術指導等を実施
いわて文化芸術活動支援事業費補助 （文化振興課）	12.0	—	皆増			新型コロナウイルス感染症の影響を受けている県内文化芸術団体等の活動継続・再開を支援するため、その取組に要する経費を補助（補助率2/3、上限150万円）

《政策推進関係》（文化スポーツ部 文化振興課）

（単位：百万円）

事業名	R3当初 予算額	R2当初 予算額	差引	新規 の別	再 掲	事業内容
いわて文化施設利用促進 事業費補助 （文化振興課）	14.1	—	皆増			新型コロナウイルス感染症の影響により利用が低調となっ ている県民会館及び公会堂の利用を促進し、文化芸術活動 の再開・継続につなげるため、ホール等の利用料金（付属 設備含む）を補助（補助率1/2）
県民会館・公会堂感染症 予防対策事業費 （文化振興課）	5.5	—	皆増			新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、県民会 館及び公会堂に消毒液や赤外線サーモグラフィ（顔認証 型）等を配備
《I》4-② 文化をめぐる新しい動向に対応した取組の推進						
いわての文化国際化推進 事業費 （文化振興課）	5.7	12.5	△ 6.8			「マンガ」を活用した海外との文化交流を実施するととも に、本県の特徴的な文化資源を生かした国内外への情報発信 を実施
ソフトパワーいわて戦略 推進事業費（マンガ郷い わて推進事業費） （文化振興課）	14.8	17.1	△ 2.3			国内外で注目度が高い「マンガ」を活用し、伝統芸能、工 芸、食文化など本県の魅力を発信
《I》4-③ 障がい者の文化芸術活動の推進						
いわてアール・ブリュッ ト魅力発信事業費 （文化振興課）	9.2	7.4	1.8			県民のアール・ブリュットへの関心を高めるとともに、 アール・ブリュット作家の創作意欲の醸成を図るため、作 品巡回展の開催や県民への普及啓発の取組を実施
障がい者芸術活動支援事 業費 （文化振興課）	8.5	8.8	△ 0.3			障がい者の文化芸術活動を支援する人材の育成や、関係者 のネットワーク形成を図るため、「障がい者芸術活動支援 センター」による支援活動を実施
障害者の文化芸術フェス ティバル東北ブロック開 催費負担金 （文化振興課）	2.0	—	皆増	新規		「東京2020大会・日本博を契機とした障害者の文化芸術 フェスティバル東北ブロック」の開催に要する経費の一部 を負担

《政策推進関係》（文化スポーツ部 文化振興課）

（単位：百万円）

事業名	R3当初 予算額	R2当初 予算額	差引	新規 の別	再 掲	事業内容
Ⅲ 教育						
《Ⅲ》19 文化芸術・スポーツを担う人材を育てます						
一流の文化芸術に触れる機会の提供や意欲的な創作活動等を後押しするとともに、障がい者の文化芸術活動を推進します。また、アスリート、障がい者アスリートの各種競技大会や強化合宿への参加を支援するとともに、スポーツ活動を支える指導者等の養成、スポーツ医・科学サポートを推進します。						
《Ⅲ》19-① 文化芸術活動を担う人材の育成						
さんりく音楽魅力発信事業費 （文化振興課）	5.0	4.8	0.2	一部 新規	○	国内外からの支援に感謝の気持ちを伝えるとともに、文化芸術を通じた被災地の地域活性化を推進するため、震災から10年を迎える被災地において「さんりく音楽祭2021」を開催
岩手芸術祭開催費 （文化振興課）	14.8	15.8	△ 1.0		○	県民の文化芸術活動の発表の場と鑑賞の機会を提供するため、本県における文化芸術の祭典「岩手芸術祭」を開催
岩手芸術祭地域活性化魅力発信事業費 （文化振興課）	7.7	9.3	△ 1.6		○	本県における文化芸術の祭典「岩手芸術祭」の取組を県全体に波及させるため、創作体験や地域の文化催事との連携イベントを開催
文化芸術イベント等映像配信事業費 （文化振興課）	5.8	—	皆増	新規	○	新しい生活様式に対応した文化振興を図るため、文化イベント等（岩手芸術祭総合フェスティバル等）におけるリモート出演・オンライン鑑賞等を実施
海外との絆を活かした文化芸術形成促進事業費 （いわて復興の絆コンサート開催事業費） （文化振興課）	11.1	11.1	0.0		○	復興の取組が10年を迎え、復興支援への感謝のメッセージを発信するとともに、震災の記憶の風化防止を図るため、著名な音楽家による公演を実施
いわて文化芸術王国構築事業費（文化芸術振興基盤強化事業費） （文化振興課）	18.8	19.5	△ 0.7		○	県内の文化芸術活動を促進するため、「文化芸術コーディネーター」を配置するとともに、官民一体による文化芸術推進体制の構築を推進
文学の国いわて推進事業費 （文化振興課）	2.6	2.8	△ 0.2		○	本県における文芸活動の振興を図るため、本県ゆかりの作家による講演会等を開催するとともに、若年層を対象とした専門家による技術指導等を実施
いわて文化芸術活動支援事業費補助 （文化振興課）	12.0	—	皆増		○	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている県内文化芸術団体等の活動継続・再開を支援するため、その取組に要する経費を補助（補助率2/3、上限150万円）

《政策推進関係》（文化スポーツ部 文化振興課）

（単位：百万円）

事業名	R3当初 予算額	R2当初 予算額	差引	新規 の別	再 掲	事業内容
《Ⅲ》19-② 文化芸術活動を支える人材の育成						
いわて文化芸術王国構築 事業費（文化芸術振興基 盤強化事業費） （文化振興課）	18.8	19.5	△ 0.7			○ 県内の文化芸術活動を促進するため、「文化芸術コーディネーター」を配置するとともに、官民一体による文化芸術推進体制の構築を推進
障がい者芸術活動支援事 業費 （文化振興課）	8.5	8.8	△ 0.3			○ 障がい者の文化芸術活動を支援する人材の育成や、関係者のネットワーク形成を図るため、「障がい者芸術活動支援センター」による支援活動を実施
Ⅳ 居住環境・コミュニティ						
《Ⅳ》26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります						
<p>岩手芸術祭をはじめとした文化イベントの開催などにより、人的・経済的な交流を推進するとともに、ラグビーワールドカップ2019TMや東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを継承し、スポーツツーリズムの拡充などを通じて、人的・経済的な交流の拡大に取り組みます。</p>						
《Ⅳ》26-① 文化芸術を生かした人的・経済的な交流の推進						
さんりく音楽魅力発信事 業費 （文化振興課）	5.0	4.8	0.2	一部 新規		○ 国内外からの支援に感謝の気持ちを伝えるとともに、文化芸術を通じた被災地の地域活性化を推進するため、震災から10年を迎える被災地において「さんりく音楽祭2021」を開催
いわての文化国際化推進 事業費 （文化振興課）	5.7	12.5	△ 6.8			○ 「マンガ」を活用した海外との文化交流を実施するとともに、本県の特徴的な文化資源を生かした国内外への情報発信を実施
岩手芸術祭開催費 （文化振興課）	14.8	15.8	△ 1.0			○ 県民の文化芸術活動の発表の場と鑑賞の機会を提供するため、本県における文化芸術の祭典「岩手芸術祭」を開催
岩手芸術祭地域活性化魅 力発信事業費 （文化振興課）	7.7	9.3	△ 1.6			○ 本県における文化芸術の祭典「岩手芸術祭」の取組を県全体に波及させるため、創作体験や地域の文化催事との連携イベントを開催
文化芸術イベント等映像 配信事業費 （文化振興課）	5.8	—	皆増	新規		○ 新しい生活様式に対応した文化振興を図るため、文化イベント等（岩手芸術祭総合フェスティバル等）におけるリモート出演・オンライン鑑賞等を実施
海外との絆を活かした文 化芸術形成促進事業費 （いわて復興の絆コン サート開催事業費） （文化振興課）	11.1	11.1	0.0			○ 復興の取組が10年を迎え、復興支援への感謝のメッセージを発信するとともに、震災の記憶の風化防止を図るため、著名な音楽家による公演を実施
いわて文化芸術王国構築 事業費（いわて文化芸術 王国構築事業費） （文化振興課）	1.2	1.2	0.0			○ 本県の特徴ある文化資源について、広く発信するため、ホームページ「いわての文化情報大事典」を運営

《政策推進関係》（文化スポーツ部 文化振興課）

（単位：百万円）

事業名	R3当初 予算額	R2当初 予算額	差引	新規 の別	再 掲	事業内容
いわて文化芸術王国構築 事業費（文化芸術振興基 盤強化事業費） （文化振興課）	18.8	19.5	△ 0.7		○	県内の文化芸術活動を促進するため、「文化芸術コーディネーター」を配置するとともに、官民一体による文化芸術推進体制の構築を推進

VII 歴史・文化

《VII》40 世界遺産の保存と活用を進めます

「北海道・北東北の縄文遺跡群（御所野遺跡）」の世界遺産への新規登録や「平泉の文化遺産」の世界遺産への拡張登録に向けた取組、計画的な保存管理計画に基づく適切な保存管理や県民の理解増進などの取組を推進するとともに、世界遺産を核として、県内の関連文化資源のネットワークを構築します。

《VII》40-① 世界遺産の新規・拡張登録の推進

世界遺産登録推進事業費 （文化振興課）	69.1	60.8	8.3	一部 新規		「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた取組を強化するとともに、「平泉の文化遺産」の拡張登録、「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産委員会決議事項に対応した取組等を実施
御所野遺跡世界遺産登録 記念事業費 （文化振興課）	4.2	—	皆増	新規		「御所野遺跡」を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録を契機として、県民理解の更なる増進を図るため、記念事業による普及啓発等の取組を実施

《VII》40-② 世界遺産の理解の増進による遺産の適切な保存管理・活用の推進

世界遺産保存活用推進事 業費 （文化振興課）	8.4	10.6	△ 2.2			「平泉」、「橋野」及び「御所野」の価値等の理解促進や人的・文化的交流を図るための普及啓発、世界遺産を中核とした関連文化資源ネットワーク構築による一体的な情報発信等の取組を実施
平泉世界遺産登録10周年 記念事業費 （文化振興課）	8.5	—	皆増	新規		「平泉の文化遺産」の世界遺産登録10周年を契機として、県民の理解増進や保存活用に向けた普及啓発等の取組を実施

《VII》40-③ 世界遺産の持つ新たな魅力の発信

平泉文化遺産ガイダンス 施設整備事業費 （文化振興課）	712.9	1,377.0	△ 664.1			令和3年度に開館予定の「平泉の文化遺産」を総合的に紹介するガイダンス施設に係る建設工事及び展示製作等を実施
平泉文化遺産ガイダンス 施設管理運営費 （文化振興課）	103.0	—	皆増	新規		令和3年度に開館予定のガイダンス施設の展示解説、企画展示等を実施

《政策推進関係》（文化スポーツ部 文化振興課）

（単位：百万円）

事業名	R3当初 予算額	R2当初 予算額	差引	新規 の別	再 掲	事業内容
《Ⅶ》40-④ 世界遺産を活用した地域間交流の推進						
世界遺産保存活用推進事業費 （文化振興課）	8.4	10.6	△ 2.2		○	「平泉」、「橋野」及び「御所野」の価値等の理解促進や人的・文化的交流を図るための普及啓発、世界遺産を中核とした関連文化資源ネットワーク構築による一体的な情報発信等の取組を実施
平泉文化遺産ガイダンス施設整備事業費 （文化振興課）	712.9	1,377.0	△ 664.1		○	令和3年度に開館予定の「平泉の文化遺産」を総合的に紹介するガイダンス施設に係る建設工事及び展示製作等を実施
平泉文化遺産ガイダンス施設管理運営費 （文化振興課）	103.0	—	皆増	新規	○	令和3年度に開館予定のガイダンス施設の展示解説、企画展示等を実施
《Ⅶ》41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます						
本県が誇る民俗芸能について、触れる機会の創出や情報発信により、伝統文化への理解を深め、次世代へ受け継ぐ取組を推進するとともに、様々な文化財や多種多様な民俗芸能などの伝統文化を活用し、人的・経済的な交流を推進します。						
《Ⅶ》41-① 民俗芸能の公演発表などによる、伝統文化への理解促進と情報発信						
いわての民俗芸能活性化交流促進事業費 （文化振興課）	5.2	12.5	△ 7.3			民俗芸能の保存・継承や後継者の育成等を図るため、「民俗芸能フェスティバル」を開催し、民俗芸能団体等の活動や交流を促進
文化芸術イベント等映像配信事業費 （文化振興課）	5.8	—	皆増	新規	○	新しい生活様式に対応した文化振興を図るため、文化イベント等（岩手芸術祭総合フェスティバル等）におけるリモート出演・オンライン鑑賞等を実施
《Ⅶ》41-② 民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進						
いわての文化国際化推進事業費 （文化振興課）	5.7	12.5	△ 6.8		○	「マンガ」を活用した海外との文化交流を実施するとともに、本県の特徴的な文化資源を生かした国内外への情報発信を実施
《Ⅶ》41-③ 様々な文化財などを活用した歴史への理解促進と情報発信						
いわて文化芸術王国構築事業費（いわて文化芸術王国構築事業費） （文化振興課）	1.2	1.2	0.0		○	本県の特徴ある文化資源について、広く発信するため、ホームページ「いわての文化情報大事典」を運営
いわて文化芸術王国構築事業費（文化芸術振興基盤強化事業費） （文化振興課）	18.8	19.5	△ 0.7		○	県内の文化芸術活動を促進するため、「文化芸術コーディネーター」を配置するとともに、官民一体による文化芸術推進体制の構築を推進
民俗文化地域連携事業費 （文化振興課）	2.5	5.1	△ 2.6			民俗文化を活用した地域振興を図るため、鳥取県及び徳島県と連携し、PRイベントを開催

《政策推進関係》（文化スポーツ部 文化振興課）

（単位：百万円）

事業名	R3当初 予算額	R2当初 予算額	差引	新規 の別	再 掲	事業内容
《Ⅶ》41-④ 様々な文化財などを活用した交流の推進						
いわて文化芸術王国構築 事業費（いわて文化芸術 王国構築事業費） （文化振興課）	1.2	1.2	0.0		○	本県の特徴ある文化資源について、広く発信するため、 ホームページ「いわての文化情報大事典」を運営
いわて文化芸術王国構築 事業費（文化芸術振興基 盤強化事業費） （文化振興課）	18.8	19.5	△ 0.7		○	県内の文化芸術活動を促進するため、「文化芸術コーディネーター」を配置するとともに、官民一体による文化芸術 推進体制の構築を推進
新しい時代を切り拓くプロジェクトの推進						
3 三陸防災復興ゾーンプロジェクト						
さんりく音楽魅力発信事 業費 （文化振興課）	5.0	4.8	0.2	一部 新規	○	国内外からの支援に感謝の気持ちを伝えるとともに、文化 芸術を通じた被災地の地域活性化を推進するため、震災か ら10年を迎える被災地において「さんりく音楽祭2021」を 開催
4 北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト						
世界遺産登録推進事業費 （文化振興課）	69.1	60.8	8.3	一部 新規	○	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた 取組を強化するとともに、「平泉の文化遺産」の拡張登 録、「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産委員会決議事 項に対応した取組等を実施
御所野遺跡世界遺産登録 記念事業費 （文化振興課）	4.2	—	皆増	新規	○	「御所野遺跡」を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の 世界遺産登録を契機として、県民理解の更なる増進を図る ため、記念事業による普及啓発等の取組を実施
9 文化・スポーツレガシープロジェクト						
さんりく音楽魅力発信事 業費 （文化振興課）	5.0	4.8	0.2	一部 新規	○	国内外からの支援に感謝の気持ちを伝えるとともに、文化 芸術を通じた被災地の地域活性化を推進するため、震災か ら10年を迎える被災地において「さんりく音楽祭2021」を 開催
いわて文化芸術王国構築 事業費（文化芸術振興基 盤強化事業費） （文化振興課）	18.8	19.5	△ 0.7		○	県内の文化芸術活動を促進するため、「文化芸術コーディネーター」を配置するとともに、官民一体による文化芸術 推進体制の構築を推進



1 発表・鑑賞の機会の提供

(1) 文化芸術イベントの開催

国・県の基本的対処方針や業種別ガイドラインに沿った感染予防対策を講じた上で、次のとおり文化芸術イベントを開催

ア 第73回岩手芸術祭

- ① 開催期間 令和2年10月3日(土)～令和3年2月28日(日)
- ② 開催場所 県内公立文化施設等
- ③ 主なイベント



- i 総合フェスティバル (R2. 10. 3、県民会館において開催)
岩手芸術祭の開幕イベント

新型コロナを踏まえた新たな取組として、メイン会場である県民会館と盛岡市民文化ホールをリモートでつなぎ、双方向で合唱等を実施

また、フェスティバルの動画を県内3会場及びWEBでライブ配信

来場者 県民会館：923人 奥州市文化会館：100人 釜石市民ホール：50人 二戸市シビックセンター：53人
WEB視聴：375回

- ii 総合フェスティバルinいわい (R3. 1. 24、一関文化センターにおいて舞台公演開催)

本県の文化芸術の発表・鑑賞の機会を広く提供することを目的として開催

新型コロナを踏まえた新たな取組として、WEB配信を実施

来場者：596人 WEB視聴：559回



イ 岩手県民俗芸能フェスティバル

- ① 開催日 令和2年12月5日(土)
- ② 開催場所 県民会館
- ③ 新型コロナを踏まえた新たな取組

フェスティバルの動画について、WEBによるライブ配信を実施。

また、民俗芸能に取り組む若者の交流を目的として、リモートにより、東京都の民俗芸能団体の舞踊や演者による対談を実施。

来場者：414人 WEB視聴：2,223回

ウ いわてアール・ブリュット巡回展

- ① 開催期間 令和2年11月29日(日)～令和3年2月21日(日)
- ② 開催場所等

日程	場所		来場者
R2. 11. 29～R2. 12. 13	盛岡市	イオンモール盛岡	528人
R2. 12. 15～R2. 12. 28	二戸市	北のチョコレート工場&店舗 2door	317人
R3. 1. 9～R3. 1. 22	一関市	一関市民センター	421人
R3. 2. 8～R3. 2. 21	釜石市	イオンタウン釜石	—



- ③ 新型コロナを踏まえた新たな取組

「いわてアール・ブリュット巡回展2020」特設ホームページにおいて、「デジタル展覧会」を実施

(2) 「コミックいわてWEB」による「新しい生活様式」をテーマとしたマンガ配信

掲載日	作品名	作者
R2. 6. 29	おうちのとら吉	田中美菜子氏
R2. 8. 28	雨ニモ風ニモ	東野柚子氏
R2. 10. 29	いつまでも絶えることなく	青木幸子氏
R2. 11. 30	馬帰る	吉田戦車氏

※今後、1作品を追加掲載予定

※これらの作品等をまとめた単行本「コミックいわて」を3月に発行予定



(3) 「いわての文化情報大事典」を活用した文化芸術活動の動画配信

公開日	動画タイトル	備考
R2.4.28	滑田鬼剣舞	
R2.6.26	安渡虎舞	復興だより4月号
R2.8.7	岩手県立盛岡第四高等学校音楽部 第11回定期演奏会 「雨ニモマケズ」	
R2.9.7	愛宕青年会 八木節	復興だより5月号
R2.10.6	中野七頭舞	復興だより6月号
R2.10.30	なもみ太鼓の会	復興だより7月号
R2.11.12	みんなで作るコンテスト	県後援事業
R2.11.13	赤澤鎧剣舞	復興だより8月号
R3.1.7	鶴住居虎舞	復興だより9月号
R3.1.18	軽米町立晴山小学校放課後子ども教室における山内神楽の体験	県北局主催事業
R3.1.29	陸前高田 川原祭組	復興だより10月号
R3.1.29	種市海鳴太鼓 太鼓体験教室発表会	県北局主催事業

(4) 文化芸術団体等の活動継続・再開の支援

ア いわて文化芸術活動支援事業費補助

新型コロナの影響により、公演などの事業の中止・延期を余儀なくされている文化芸術団体の活動継続・再開を支援することを目的として実施

(補助内容) 補助率3分の2、上限150万円

(事業期間) 令和2年9月8日(火)～令和3年3月31日(水) ※R3. 1. 29申請期間終了

(採択件数) 23件

イ いわて文化施設利用促進事業費補助

新型コロナの影響により、屋内イベント収容率・収容人員が制限される中、公演などの事業の中止・延期を余儀なくされている状況を踏まえ、県民会館の大ホール・中ホール及び公会堂の大ホール等の利用料金を補助し、施設の利用促進を図ることにより、文化芸術活動の継続・再開を支援することを目的として実施

(補助内容) 施設利用料の50%

(事業期間) 令和2年9月8日(火)～令和3年3月31日(水)

(採択件数) 62件

2 文化施設における感染予防対策

- ・岩手県内公立文化施設協議会に加盟している29施設においては、ガイドラインに基づいた感染予防対策を実施
- ・県民会館及び公会堂については、赤外線サーモグラフィ、非接触型体温計を活用
- ・LINEを活用して県から感染拡大防止に向けたお知らせなどを行う「もしサポ岩手」を導入



サーモグラフィカメラ設置状況及び感染予防対策に関する案内表示 (県民会館)

新型コロナウイルス感染症による文化芸術活動への影響調査

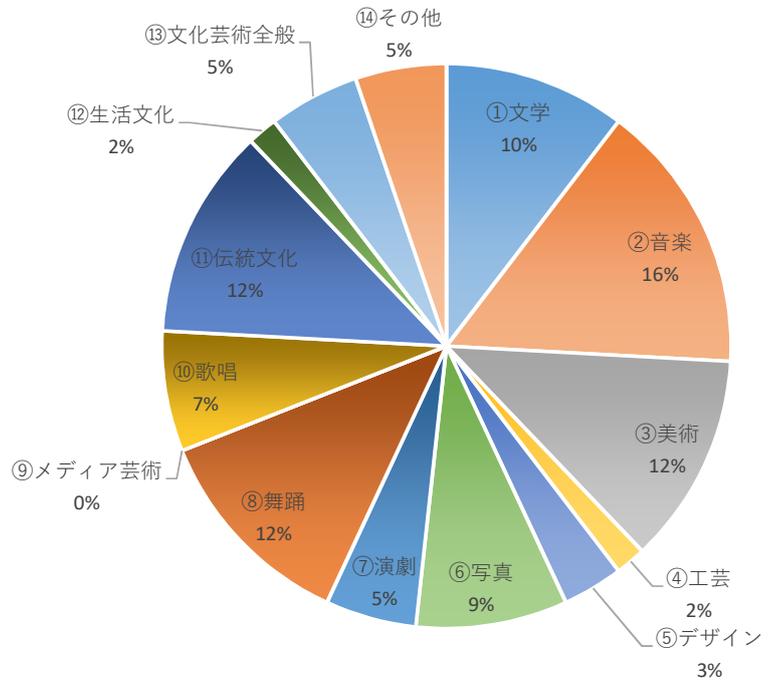
令和2年12月15日現在

・調査期間:令和2年11月20日～12月15日

・調査対象:(一社)岩手県芸術文化協会加盟専門団体及び市町村団体、文化芸術コーディネーター

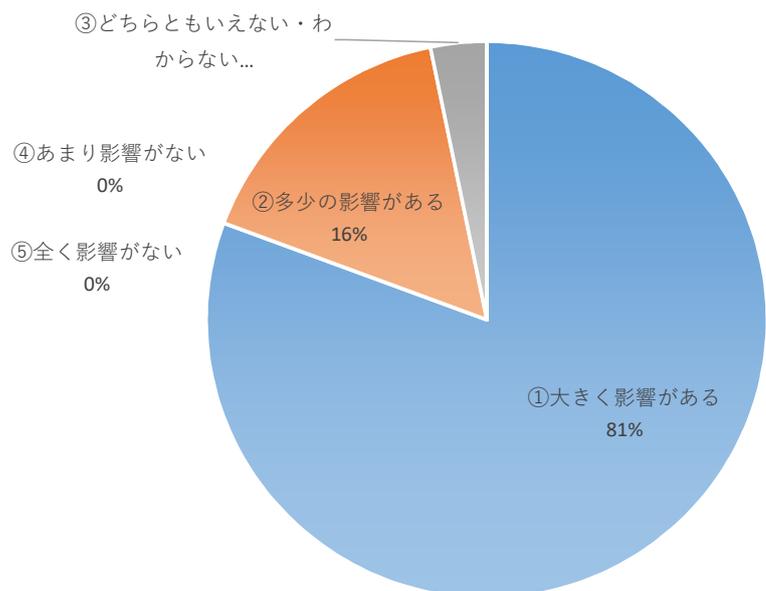
Q1 貴団体が行っている主たる文化芸術活動をお答えください。(複数回答可)

回答項目	回答数	構成割合
①文学	6	10%
②音楽	9	16%
③美術	7	12%
④工芸	1	2%
⑤デザイン	2	3%
⑥写真	5	9%
⑦演劇	3	5%
⑧舞踊	7	12%
⑨メディア芸術	0	0%
⑩歌唱	4	7%
⑪伝統文化	7	12%
⑫生活文化	1	2%
⑬文化芸術全般	3	5%
⑭その他	3	5%
合計	58	100%



Q2 新型コロナウイルス感染症は、貴団体の活動に影響していますか。

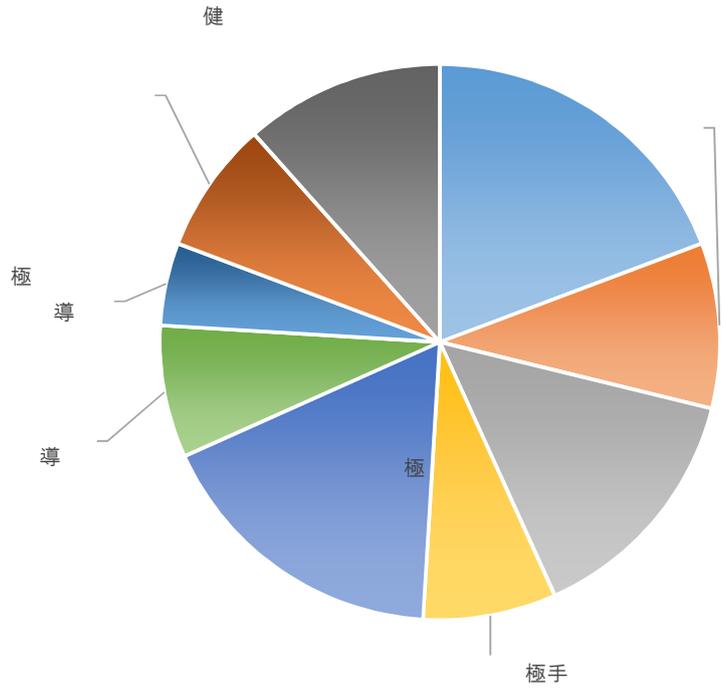
回答項目	回答数	構成割合	順位
①大きく影響がある	25	81%	1
②多少の影響がある	5	16%	2
③どちらともいえない・わからない	1	3%	3
④あまり影響がない	0	0%	-
⑤全く影響がない	0	0%	-
合計	31	100%	



【コメント】「①大きく影響している」が81%、「②多少影響がある」が16%で回答のあったほぼ全ての団体で影響があったと回答している。

俗 俗 史 史
健 催史

	31	2	2
	21	21	6
	26	25	4
極手	9	9	7
極	29	28	3
導	9	9	7
極 導	6	6	
健	9	9	7
	23	22	5
	215	211	



人		備	2	主	主
極	28				

俗 極 健

極手	21	22	6
極	2	31	4
極	22	23	5
極 予	33	35	2
	31	33	3
	21	22	6
	3	211	



人		極	予	35	主
33	主	極	31	備	催

俗供

主

27

健

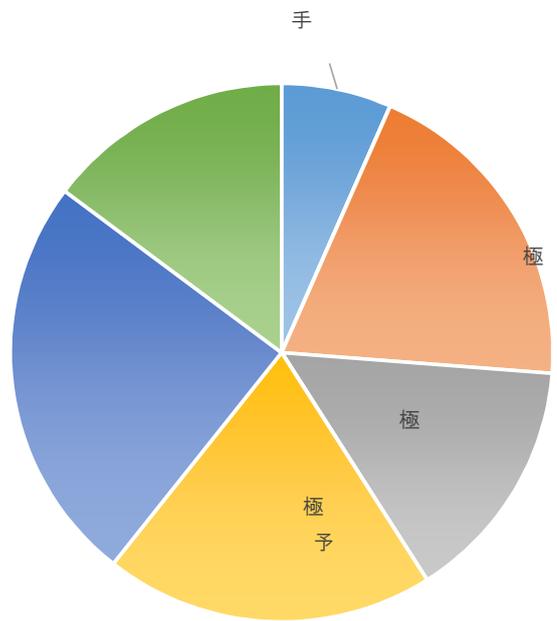
主

備

催

備

手	5	7	7
極	23	31	3
極		26	5
極 予	23	31	3
	26	35	2
		26	5
	72	211	



人	35	主	極
31	備	極	予
		31	備
			催

俗

主

健

主

主

手

主

人

涯 振

58

	供

	21

「 い

⑤ ⑤ 21

「 サ ※ シ ③ ウ ※ 「

③ シ ※
※ ③ ※

サ ※ ※

Web シ E
み Web み 典

シ ③ チ

oTo シ ※ 「 余 ※
ホ 付 シ サ ※

※ 4 7 10 11
※

文化スポーツ部 文化振興課 令和3年度の主要事業

(単位：百万円、%)

区分	3年度当初予算額	2年度当初予算額	増減額	増減率
当初予算額	1,316.7	1,835.8	△ 519.1	△ 28.3
うち震災対応分	12.1	19.6	△ 7.5	△ 38.3

■主要事業一覧

【復興推進関係】 (文化スポーツ部 文化振興課)

(単位：百万円)

事業名	R3当初 予算額	R2当初 予算額	差引	再 掲	事業内容
Ⅱ 暮らしの再建					
【Ⅱ】 3 教育・文化・スポーツ					
生きる活力を生み出し、地域への誇りや愛着を深めるため、文化芸術・スポーツ活動の振興や伝統文化などの保存・継承を支援します。					
【Ⅱ】 3-⑨ 文化芸術環境の整備や伝統文化などの保存と継承を支援します					
海外との絆を活かした文化芸術形成促進事業費 (いわて復興の絆コンサート開催事業費) (文化振興課)	11.1	11.1	0.0		復興の取組が10年を迎え、復興支援への感謝のメッセージを発信するとともに、震災の記憶の風化防止を図るため、著名な音楽家による公演を実施
さんりく音楽魅力発信事業費 (文化振興課)	5.0	4.8	0.2		国内外からの支援に感謝の気持ちを伝えるとともに、文化芸術を通じた被災地の地域活性化を推進するため、震災から10年を迎える被災地において「さんりく音楽祭2021」を開催
Ⅳ 未来のための伝承・発信					
【Ⅳ】 2 復興情報発信					
将来にわたって復興への理解を深め、継続的な復興への参画を促進するため、復興の姿を国内外に積極的に発信していきます。					
【Ⅱ】 3-⑨ 文化芸術環境の整備や伝統文化などの保存と継承を支援します					
海外との絆を活かした文化芸術形成促進事業費 (いわて復興の絆コンサート開催事業費) (文化振興課)	11.1	11.1	0.0	○	復興の取組が10年を迎え、復興支援への感謝のメッセージを発信するとともに、震災の記憶の風化防止を図るため、著名な音楽家による公演を実施
さんりく音楽魅力発信事業費 (文化振興課)	5.0	4.8	0.2	○	国内外からの支援に感謝の気持ちを伝えるとともに、文化芸術を通じた被災地の地域活性化を推進するため、震災から10年を迎える被災地において「さんりく音楽祭2021」を開催